

サーバ構成ビューアユーザズガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。
製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

登録商標・商標

HITACHI は、株式会社 日立製作所の商標または登録商標です。

Microsoft, Windows, Windows Server, Internet Explorer およびHyper-V は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat は、米国およびその他の国でRed Hat, Inc. の登録商標もしくは商標です。

VMware は、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標または商標です。

Active X、Excel、およびMicrosoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iLOは、Hewlett Packard Enterprise Development LPの商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

Google Chromeは、Google Inc.の登録商標です。

その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

発行

2021 年 2月（初版）

版權

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

All Rights Reserved. Copyright © 2021, Hitachi, Ltd.

目次

登録商標・商標	1
発行	1
版権	1
目次	2
1. はじめに	4
1.1. 対象環境	5
1.2. 事前準備	5
2. 管理者の操作	6
2.1. 初期設定	6
2.2. メンバの追加・編集・削除	9
2.3. ライセンスキーの登録	12
2.4. システム設定の追加・編集・削除	14
2.4.1. HA8000V/RV3000 の場合	14
2.4.2. vCenter の場合	17
2.5. ディスカバリ	21
2.6. 設定のエクスポート・インポート	28
3. 運用者の操作	30
3.1. ログイン・ログアウト	30
3.2. 構成の確認	33
3.2.1. HA8000V/RV3000 の構成確認	33
3.2.2. vCenter の構成確認	45
3.3. ジョブの実行・確認	52
3.3.1. HA8000V/RV3000 へのジョブ実行	52
3.3.2. vCenter へのジョブ実行	56
3.3.3. ジョブの確認	66
3.4. 構成情報のエクスポート	72
3.5. 構成履歴の保存	74
3.6. 温度情報のエクスポート	76
4. リファレンス	78
4.1. よくあるご質問	78
4.2. 注意事項および制限事項	80
5. お問い合わせ先	81
5.1. 最新情報の入手先	81
5.2. お問い合わせ先一覧	81
5.3. コンピュータ製品に関するお問い合わせ	82
5.4. 欠品・初期不良・故障のお問い合わせ	82
5.5. 操作や使いこなし、およびハードウェア障害のお問い合わせ	82

5.6.	OS、ソフトウェアに関するお問い合わせ	82
6.	サポート&サービスのご案内	83
6.1.	ハードウェア保守サービス	83
6.2.	保守作業時の注意事項	84
6.3.	製品保証	84
6.4.	技術支援サービス	84
6.5.	総合サポートサービス「日立サポート 360」	84

1. はじめに

本書では、サーバ構成ビューアの基本的な使用方法について説明します。

サーバ構成ビューアは、システム基盤の論理構成および物理構成の情報を可視化し、運用時の定型操作を自動実行できるツールです。

- 構成情報を収集し、視覚的にわかりやすい構成図を自動生成するため、構成管理にかかる工数を削減できます。
- 論理構成図と物理構成図を相互に切り替えて表示できるため、論理サーバ環境と物理サーバ環境の関係も容易に把握できます。
- 構成図の中から仮想マシンまたは機器のアイコンを選択して電源オン・オフや再起動などの定型操作を自動実行できるため、作業ミスや運用工数を削減できます。

サーバ構成ビューアのユースケース

- 環境構築時の確認
システム基盤の論理構成および物理構成の情報を視覚的に確認できます。
- 運用時の定型操作
指定の仮想マシンまたは機器に対して、スケジュールを指定して定型操作を自動実行できます。
- 構成変更の管理
構成履歴機能により、過去の構成の状態を確認できます。

本書での表記

本書では各種名称を省略して表記しています。正式名称と本書での表記を次の表に示します。

正式名称	本書での表記
Logical Unit Number	LUN
Network Interface Card	NIC
Virtual LAN	VLAN
Rack Management Controller	RMC
integrated Lights-Out	iLO

1.1. 対象環境

本システムは以下の環境を対象とします。

- VMware vSphere環境
- HA8000Vシリーズ
- RV3000シリーズ

1.2. 事前準備

本システムでは Web ブラウザを使用します。下記の Web ブラウザのいずれかを用意し、JavaScript が無効になっている場合は有効化を実施してください。

使用できる Web ブラウザ

- Microsoft Edge 80以降
- Google Chrome 80以降

JavaScript の有効化

● Microsoft Edgeの場合

- ① Edgeを開き、右上の[⋯]-[設定]の順にクリックする。
- ② [サイトのアクセス許可]をクリックする。
- ③ [Javascript]をクリックする。
- ④ [許可(推奨)]をオンにする。

● Google Chromeの場合

- ⑤ Chromeを開き、右上のその他アイコン - [設定] の順にクリックします。
- ⑥ [プライバシーとセキュリティ] で [サイトの設定] をクリックします。
- ⑦ [Javascript] をクリックします。
- ⑧ [許可(推奨)] をオンにします。

2. 管理者の操作

2.1. 初期設定

運用開始までの流れは下記のとおりです。



(1)初回ログイン

サーバ構成ビューアにログインするには下記の URL にアクセスしてください。使用できる Web ブラウザは、「1.2. 事前準備」を参照してください。

URL : <u>http://サーバ構成ビューアのホスト名(またはIPアドレス)/</u>	(HTTP 接続の場合)
URL : <u>https://サーバ構成ビューアのホスト名(またはIPアドレス)/</u>	(HTTPS 接続の場合)

URL にアクセスすると次のログインフォーム画面が表示されます。初回ログイン時は、初回ログイン用のユーザーとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインしてください。

サーバ構成ビューア

ユーザー:

パスワード:

ログイン

© Hitachi, Ltd. 2021. All Rights Reserved.

1.0.0

初回ログイン用のユーザーとパスワード

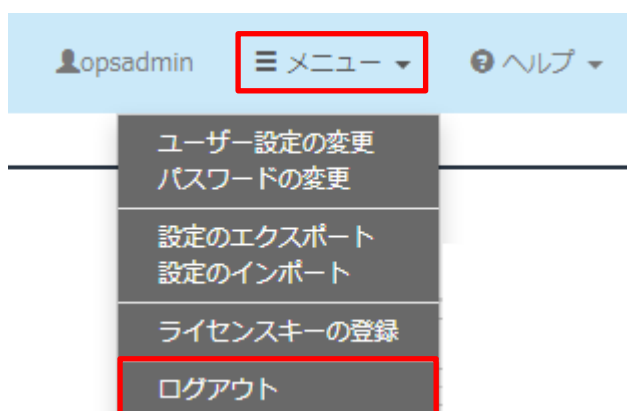
ユーザー : opsadmin

パスワード : P@ssw0rd

「opsadmin」は、構成ビューアで最も強い権限であるオーナー権限を持つ初期ユーザーです。「opsadmin」で、オーナー権限を持つユーザーおよび権限が限定されるユーザーを追加した後、「opsadmin」を削除することを推奨します。

操作の実行に必要な権限については、「4.1 よくあるご質問」を参照してください。

サーバ構成ビューアからログアウトするには、画面右上の[メニュー] - [ログアウト]メニューをクリックしてください。ログアウトするとログインフォーム画面に遷移します。



(2)メンバの追加

サーバ構成ビューアでは、サーバ構成ビューアへログインをするためのメンバを追加する必要があります。サーバ構成ビューアを使用できるのはメンバとして登録されているユーザーのみです。「2.2 メンバの追加・編集・削除」を参照して、メンバを追加してください。

(3)ライセンス登録(仮想サーバ環境)

本作業は物理サーバ環境のみを管理する場合では不要です。

一時ライセンスキー、もしくは製品ライセンスキーを登録することにより、仮想サーバの管理ができるようになります。「2.3 ライセンスキーの登録」を参照して、ライセンスを登録してください。

(4)システム設定の追加

システムとは、構成ビューアの管理対象となる物理サーバ環境および仮想サーバ環境を一括りにする概念です。構成ビューアには複数のシステムを定義することができます。

構成図の表示やジョブの管理を行うためのシステムを追加します。システムを追加すると、構成情報の取得や定型ジョブの実行ができるようになります。「2.4 システム設定の追加・編集・削除」を参照して、システムの設定を追加してください。

(5)ディスカバリの実行(物理サーバ環境)

本作業は仮想サーバ環境では不要です。

ディスカバリとは、ネットワーク上のサーバ機器を探索し、サーバ構成ビューアで管理可能な機器を発見する機能です。

物理サーバ環境では、ディスカバリで発見した機器を管理対象とすることで、構成図の表示やジョブを実行できるようになります。「2.5 ディスカバリ」を参照して、ネットワーク上のサーバ機器の探索を実行してください。

以上で初期設定は完了です。

2.2. メンバの追加・編集・削除

メンバの追加・編集・削除にはオーナー権限が必要です。

(1)メンバの追加

メンバ画面の上部にある[メンバの追加]ボタンをクリックしてください。

サーバ構成ビューア

opsadminメニューヘルプ

メンバシステム構成ビューア運用ジョブ

メンバの追加

ユーザーID	メールアドレス	権限	操作
opsadmin		オーナー権限	<div>メンバの編集</div> <div>削除</div>
opsuser		閲覧権限	<div>メンバの編集</div> <div>削除</div>
opsmember		メンバ権限	<div>メンバの編集</div> <div>削除</div>
opsowner		オーナー権限	<div>メンバの編集</div> <div>削除</div>

[メンバの追加]ダイアログが表示されるので、各項目を入力して、[保存]ボタンをクリックしてください。

メンバの追加

ユーザーID:

メールアドレス:

権限:

閲覧権限

説明

追加するメンバの情報とその権限を入力してください。

保存

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	ユーザーID※	任意のユーザーIDを一意になるように入力します。
2	メールアドレス	メンバの情報としてメールアドレスを入力します。メール送信機能はありません。

3	権限 [※]	<p>メンバに付与する権限をドロップダウンリストから選択します。権限の種類は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 閲覧権限 情報の参照のみが可能な権限です。 ● メンバ権限 メンバ用の権限です。オーナー権限に対して一部機能の使用ができません。 ● オーナ権限 管理者用の権限です。すべての操作が可能です。 <p>操作の実行に必要な権限については、「4.1 よくあるご質問」を参照してください。</p>
---	-----------------	--

※入力必須の項目です。

追加したメンバが初めてログインするときの方法やパスワードの変更方法などについては、「3.1 ログイン・ログアウト」を参照してください。

(2)メンバの編集

メンバ画面で[メンバの編集]をクリックすると、登録済みのメンバの内容を編集できます。編集できる項目はメールアドレスおよび権限です。ただし、編集しているユーザー本人の権限は変更できません。

サーバ構成ビューア			
opsadmin メニュー ヘルプ			
メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ			
メンバの追加			
ユーザーID	メールアドレス	権限	操作
opsadmin		オーナー権限	メンバの編集 削除
opsuser		閲覧権限	メンバの編集 削除
opsmember		メンバ権限	メンバの編集 削除
opsowner		オーナー権限	メンバの編集 削除

メンバの編集

×

ユーザーID:

opsadmin

メールアドレス:

権限:

オーナー権限

説明

このメンバの情報を入力してください。

保存

キャンセル

各項目の説明は「(1)メンバの追加」を参照してください。

(3)メンバの削除

メンバ画面で[削除]をクリックすると、メンバを削除できます。ただし、編集しているユーザー本人は削除できません。メンバを削除した後にメンバ設定の復元は行えませんが、ご注意ください。

サーバ構成ビューア			
opsadmin メニュー ヘルプ			
メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ			
メンバの追加			
ユーザーID	メールアドレス	権限	操作
opsadmin		オーナー権限	メンバの編集 削除
opsuser		閲覧権限	メンバの編集 削除
opsmember		メンバ権限	メンバの編集 削除
opsowner		オーナー権限	メンバの編集 削除

2.3. ライセンスキーの登録

ライセンスキーの登録にはオーナー権限が必要です。

(1)ライセンスキーの登録

[メニュー]ドロップダウンリストから[ライセンスキーの登録]を選択します。

ライセンスキーの登録画面が表示されるので、ライセンスキーを入力して、[登録]ボタンをクリックしてください。なお、登録済みのライセンスキーがある場合は、登録済みライセンスキーの使用期限と vCenter 台数が表示されます。

● ライセンス登録時の注意事項

＜一時ライセンスキーの場合＞

- ・ 一時ライセンスキーの使用期間は90日です。
- ・ 一時ライセンスキーで登録可能なvCenter台数は16,384台です。
- ・ 一時ライセンスキーを登録した後に製品ライセンスキーを登録することは可能です。

＜製品ライセンスキーの場合＞

- ・ 製品ライセンスキーに使用期間はありません。永続使用可能です。

- ・ 1つの製品ライセンスキーで登録可能なvCenter台数は1台です。
- ・ 製品ライセンスキーを登録した後に製品ライセンスキーの追加登録が可能です。
- ・ 製品ライセンスキーを登録した後に一時ライセンスキーを登録することは出来ません。

2.4. システム設定の追加・編集・削除

システム設定の追加・編集・削除にはオーナー権限またはメンバ権限が必要です。

2.4.1. HA8000V/RV3000 の場合

(1)HA8000V/RV3000 システムの追加

システム画面の上部にある[システムの追加]ドロップダウンリストから[HITACHI HA8000V/RV3000 Series]を選択してください。



システム名	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series vCenter Server	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 6		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 7		構成ビューアへ

[HA8000V/RV3000 システムの追加]ダイアログが表示されるので、各項目を入力して、[保存]ボタンをクリックしてください。



HA8000V/RV3000 システムの追加

名前:

説明: 説明
HA8000V/RV3000 システムの構成を取得するための情報を入力してください。

構成情報の自動取得間隔(分):

各入力項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	名前※	任意の名称を入力します。ここに設定した名称が追加するシステム設定の表示名になります。
2	説明	任意の説明を入力します。
3	構成情報の自動取得間隔(分)※	構成情報を取得する間隔(分)を 1～60 の範囲で指定します。デフォルト値は 15 です。

※入力必須の項目です。

(2)HA8000V/RV3000 のシステム設定編集

システム画面の右側にあるドロップダウンリストから[HA8000V/RV3000 システムの編集]を選択すると、HA8000V/RV3000 システムの設定を編集できます。

サーバ構成ビューア

opsadmin メニュー ヘルプ

メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ

システムの追加

種別	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ HA8000V/RV3000 システムの編集 削除
vCenter Server	vCenter Server 6		
vCenter Server	vCenter Server 7		構成ビューアへ

HA8000V/RV3000 システムの編集

名前: HA8000V/DL360,DL380

説明: HA8000V/RV3000 システムの構成を取得するための情報を入力してください。

構成情報の自動取得間隔(分): 1

保存 キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	名前	システム設定の表示名です。
2	説明	システム設定の説明です。
3	構成情報の自動取得間隔(分)	構成情報を取得する間隔(分)を 1～60 の範囲で変更できます。

● 注意事項

システム内に温度情報を表示する設定とした温度情報を監視しているサーバ機器が存在する場合、「構成情報の自動取得間隔(分)」を 15 分以下に設定してください。

温度情報の表示については、「3.2.1(6)温度情報の表示・非表示」を参照してください。

(3)HA8000V/RV3000 システムの削除

システム画面の右側にあるドロップダウンリストから[削除]を選択すると、HA8000/RV3000 のシステム設定を削除できます。システム設定を削除した後にシステム設定の復元は行えませんので、ご注意ください。

サーバ構成ビューア			
opsadmin メニュー ヘルプ			
メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ			
システムの追加			
種別	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 6		HA8000V/RV3000 システムの編集 削除
vCenter Server	vCenter Server 7		構成ビューアへ

● 注意事項

システム設定を削除すると、関連するジョブおよびタスクも連動して削除されます。

そのため、スケジュール中のジョブ、タスクがエラーとなることがあります。

2.4.2. vCenter の場合

(1)vCenter システムの追加

システム画面の上部にある[システムの追加]ドロップダウンリストから[vCenter Server]を選択してください。

システム	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 6		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 7		構成ビューアへ

[vCenter の追加]ダイアログが表示されるので、各項目を入力して、[保存]ボタンをクリックしてください。

名前:

説明

vCenter システムの構成を取得するための情報を入力してください。

構成情報の自動取得間隔(分):

15

ホスト名:

ユーザー:

パスワード:

データセンタ名:

保存 キャンセル

各入力項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	名前※	任意の名称を入力します。ここに設定した名称が追加するシステム設定の表示名になります。
2	説明	任意の説明を入力します。
3	構成情報の自動取得間隔(分)※	構成情報を取得する間隔(分)を 1～60 の範囲で指定します。デフォルト値は 15 です。
4	ホスト名※	vCenter のホスト名または IP アドレスを入力します。なお、vCenter の HTTPS ポートをデフォルトの 443 から変更している場合は、「ホスト名または IP アドレス:ポート番号」の形式で入力してください。
5	ユーザー※	vCenter に接続するためのユーザー名を入力します。大文字と小文字に注意して入力してください。
6	パスワード※	vCenter に接続するためのユーザーのパスワードを入力します。
7	データセンタ名※	vCenter 内に構成されるデータセンタ名を入力します。 大文字と小文字は区別されます。

※入力必須の項目です。

[保存]ボタンをクリックすると、vCenter に接続できるかどうかチェックをおこないます。接続できない場合はエラーメッセージが表示され、vCenter のシステム設定は追加されません。[vCenter の追加]ダイアログの入力内容を見直すか、環境設定を見直してください。

● 注意事項

[構成情報の自動取得間隔(分)]の値を小さくすると、1 回の構成情報取得が完了する前に次の構成情報取得を開始し、完了までに時間がかかることがあります。その場合は vCenter の編集画面で値を変更してください。vCenter の編集画面については、「(2)vCenter システムの編集」を参照してください。

(2)vCenter システムの編集

システム画面の右側にあるドロップダウンリストから[vCenter システムの編集]を選択すると、vCenter のシステム設定を編集できます。

サーバ構成ビューア

opsadmin メニュー ヘルプ

メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ

システムの追加

種別	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 6		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 7		vCenter システムの編集 削除

vCenter システムの編集

名前:
vCenter6

説明:
vCenter システムの構成を取得するための情報を入力してください。

構成情報の自動取得間隔(分):
15

☐ 接続情報を更新する

ホスト名:
10.2

ユーザー:
adn

パスワード:

データセンタ名:

保存 キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	名前	システム設定の表示名です。

2	説明	システム設定の説明です。
3	構成情報の自動取得 間隔(分)	構成情報を取得する間隔(分)を 1～60 の範囲で変更できます。
4	接続情報を更新する	接続情報を更新する場合はチェックをオンにしてください。
5	ホスト名	vCenter のホスト名または IP アドレスです。 vCenter の HTTPS ポートをデフォルトの 443 から変更している場合は、「ホスト名または IP アドレス:ポート番号」の形式で入力してください。 [接続情報を更新する]がオンの場合のみ編集可能です。
6	ユーザー	vCenter に接続するためのユーザー名です。 [接続情報を更新する]がオンの場合のみ編集可能です。
7	パスワード	vCenter に接続するためのユーザーのパスワードです。 [接続情報を更新する]がオンの場合のみ編集可能です。
8	データセンタ名	vCenter 内に構成されるデータセンタ名です。 [接続情報を更新する]がオンの場合のみ編集可能です。

(3)vCenter システムの削除

システム画面の右側にあるドロップダウンリストから[削除]を選択すると、vCenter のシステム設定を削除できます。システム設定を削除した後にシステム設定の復元は行えませんので、ご注意ください。

サーバ構成ビューア
opsadmin
メニュー
ヘルプ

メンバ
システム
構成ビューア
運用ジョブ

システムの追加

種別	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 6		構成ビューアへ
vCenter Server	vCenter Server 7		vCenter システムの編集 <div>削除</div>

● 注意事項

システム設定を削除すると、関連するジョブおよびタスクも連動して削除されます。そのため、スケジュール中のジョブ、タスクがエラーとなることがあります。

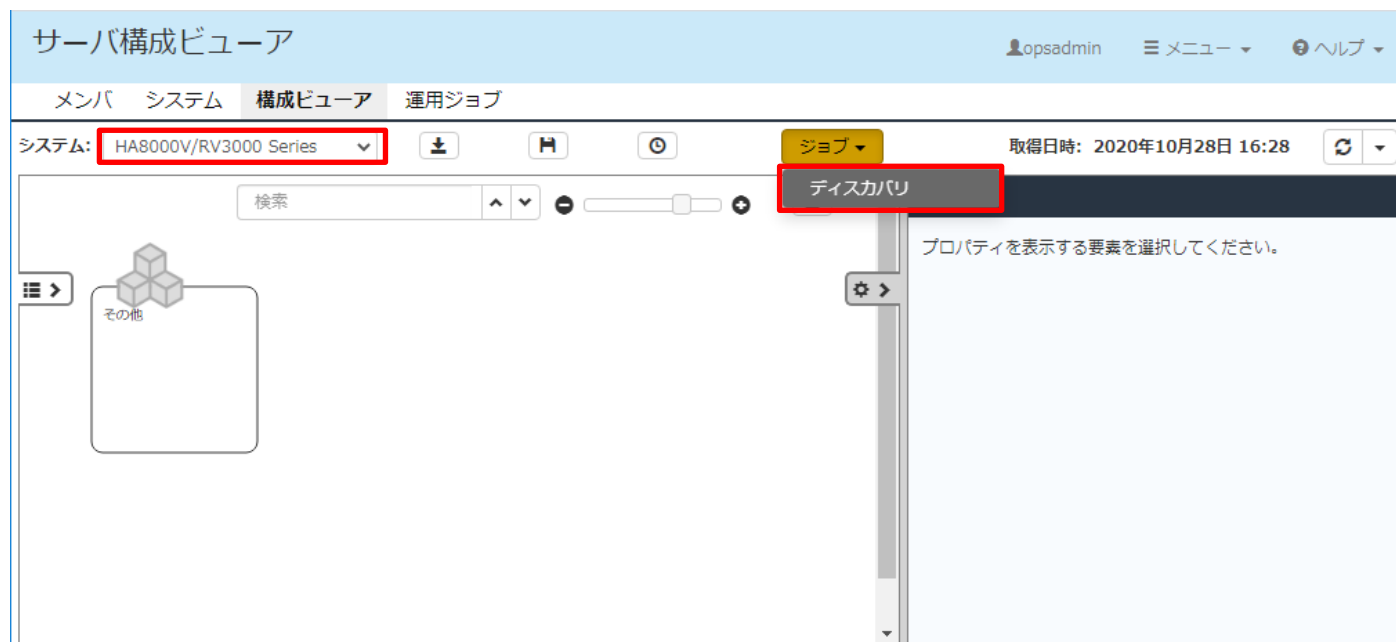
2.5. ディスカバリ

ディスクバリの実行にはオーナー権限またはメンバ権限が必要です。

「3.3.1 HA8000V/RV3000 へのジョブ実行」に示すジョブの動作中には、ディスクバリを実行しないでください。

(1) ディスカバリの実行

構成ビューア画面の上部にある[システム]ドロップダウンリストから、ディスクバリを実行するシステムを選択し、続いて[ジョブ]ドロップダウンリストから[ディスクバリ]を選択します。



[ディスクバリ]ダイアログが表示されるので、各項目を入力して、[実行]ボタンをクリックしてください。

The 'ディスクバリ' (Discovery) dialog box is shown. It has a title bar with a close button. Below the title bar, there's a 'ジョブ名' (Job Name) field with the value 'ディスクバリ_202007131605'. Below that, there's a table with columns: 'IPアドレス範囲' (IP Address Range), 'ポート番号' (Port Number), 'ユーザーID' (User ID), 'パスワード' (Password), and '強制' (Force). The table has two rows. The first row has values: '10.1.1.1/24', '443', 'Administrator', '*****', and an unchecked checkbox. The second row has values: '10.1.1.1/24', '443', 'Administrator', '*****', and an unchecked checkbox. At the bottom right, there are two buttons: '実行' (Execute) and 'キャンセル' (Cancel). The '実行' (Execute) button is highlighted.

	IPアドレス範囲	ポート番号	ユーザーID	パスワード	強制
1	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>
2	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意のジョブ名を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「ディスカバリ_yyyyMMddHHmm」です。
2	IP アドレス範囲※	探索する機器の iLO または RMC の IP アドレスを指定します。 IP アドレスは以下に示す指定が可能です。 ● IPv4, IPv6ともに指定可能です。 ● 複数のIPアドレスや範囲指定が可能です。 複数の IP アドレスを指定する場合、“,”で区切って指定します。 IPv4 アドレスの範囲を指定することができます。この場合は第 4 オクテットの値を“-”でつなげて指定します。 (例)192.168.1.11,192.168.55.100-180
3	ポート番号※	iLO または RMC のポート番号を指定します。
4	ユーザーID※	iLO または RMC 通信時のユーザーID を指定します。 ユーザーカウントは「Login」権限が付与されている必要があります。
5	強制	指定した「IP アドレス範囲」の範囲内で、すでに管理状態となっている IP アドレスを再探索する時にチェックします。

探索条件は[-]、[+]で追加と削除ができます。

※入力必須の項目です。

(2) ディスカバリの状況確認

ディスカバリの実行状況は、運用ジョブ画面で確認できます。運用ジョブ画面の[タスク一覧]で[タスク詳細]を表示します。

ジョブの確認方法は「3.3.3 ジョブの確認」を参照してください。

(3) ディスカバリの結果表示

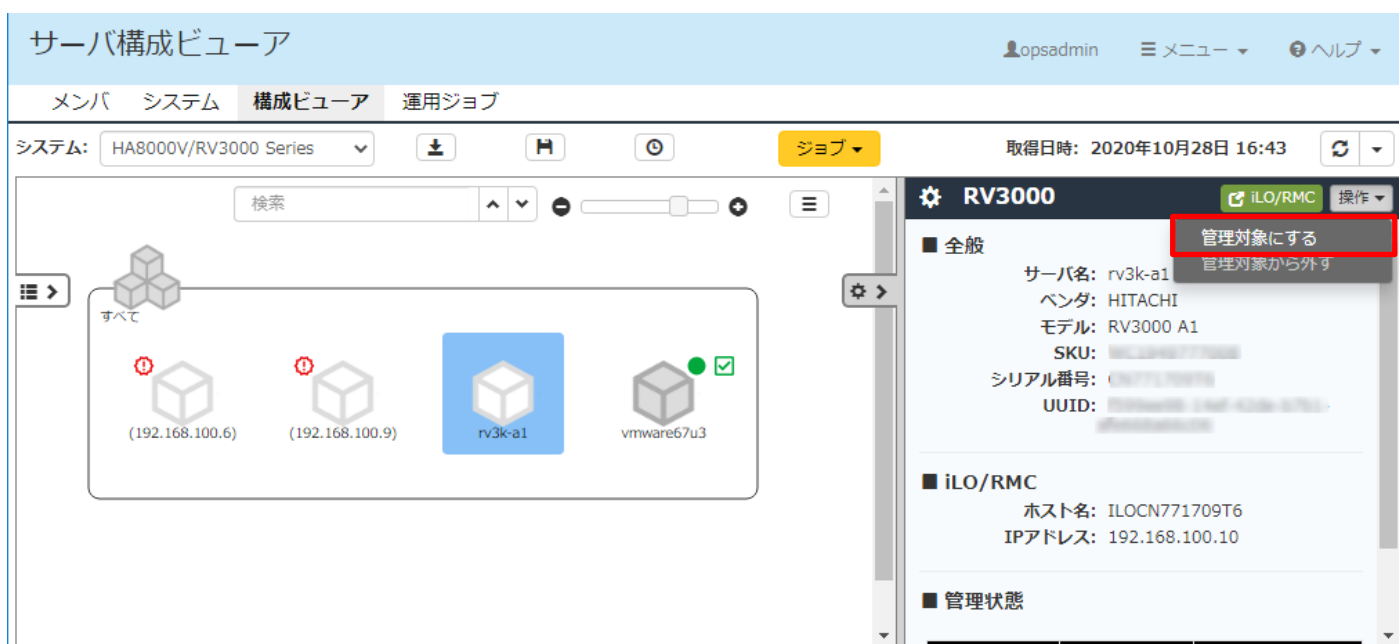
構成ビューア画面の[システム]ドロップダウンリストから、ディスカバリを実行したシステムを選択し、メニュー領域にある[構成取得]をクリックしてください。”成功:構成情報の取得が完了しました”と表示されたら [画面更新]をクリックして構成ビューア画面を再表示してください(ボタン配置については「3.2.1 HA8000V/RV3000 の構成確認」を参照してください)。ディスカバリによって新たに発見された機器は、構成ビューア画面に「非管理状態」の機器として表示されます。



(4) 管理対象の登録・削除

● 管理対象の登録

非管理状態のサーバ機器またはそれを含むグループを選択したうえで、[操作]ドロップダウンリストから[管理対象にする]を選択します。



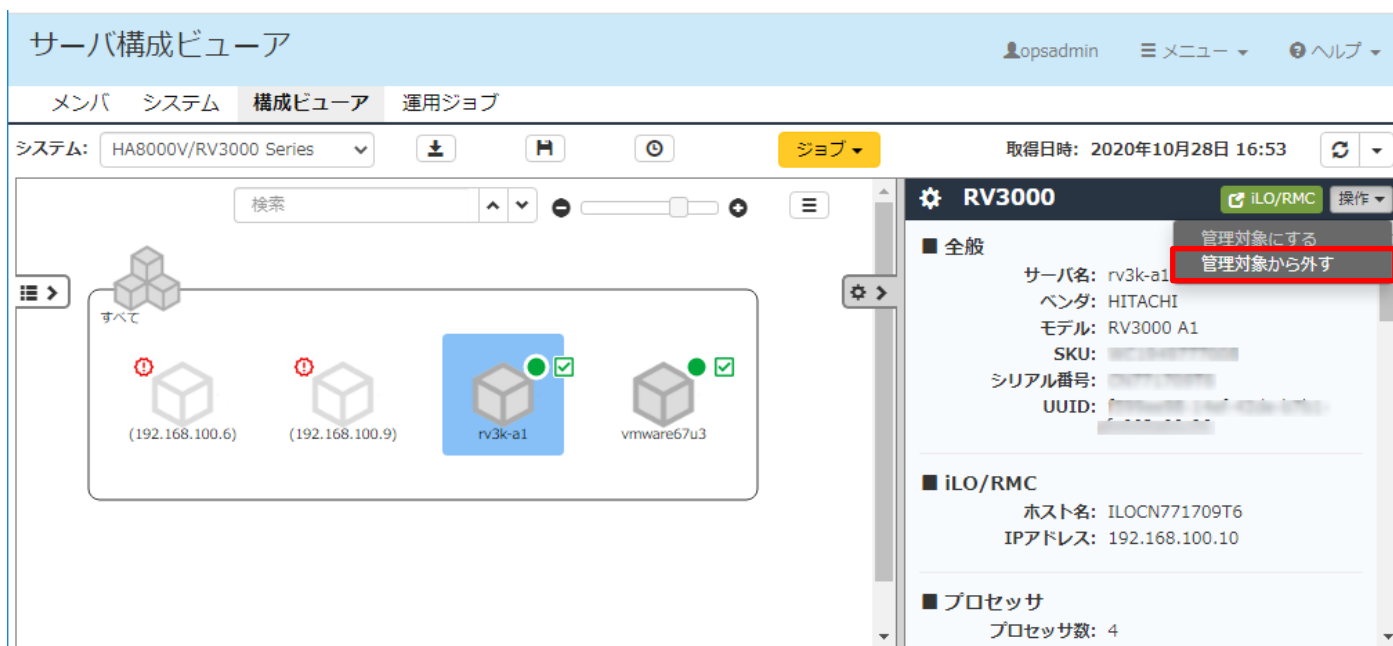
[管理対象とするサーバの選択]ダイアログが表示されるので、チェックがついているサーバ機器を確認したうえで、[OK]ボタンをクリックしてください。

ディスクバリの条件で指定した IP アドレスの範囲によっては、他のシステムで管理対象としている機器も発見されます。当該システムで管理する機器を選択して管理対象とします。

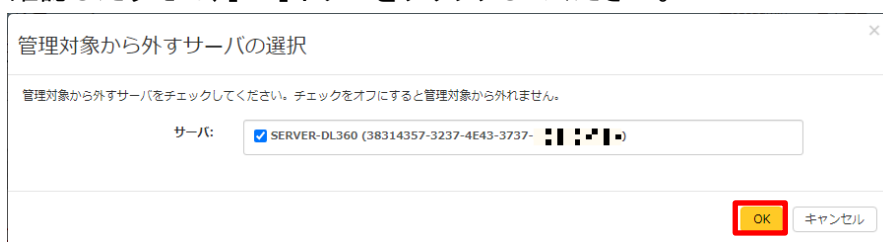


● 管理対象の削除

管理状態のサーバ機器またはそれを含むグループを選択したうえで、[操作]ドロップダウンリストから[管理対象から外す]を選択します。

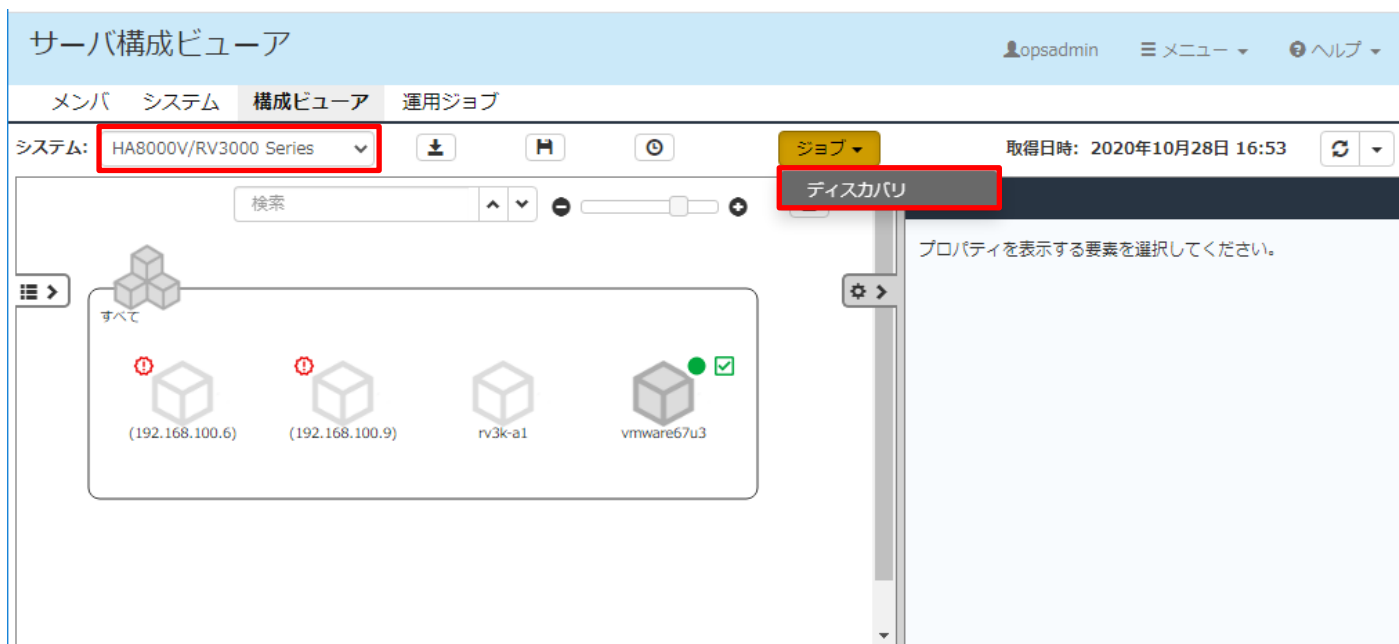


[管理対象から外すサーバの選択]ダイアログが表示されるので、チェックがついているサーバ機器を確認したうえで、[OK]ボタンをクリックしてください。



(5) ディスカバリの再実行

構成ビューア画面の上部にある[システム]ドロップダウンリストから、ディスクバリを再実行するシステムを選択し、続いて[ジョブ]ドロップダウンリストから[ディスクバリ]を選択します。



前回実行時の探索条件が設定された状態で[ディスカバリ]ダイアログが表示されます。必要に応じて条件を変更して実行します。各項目の内容と実行後の確認方法は、初回ディスカバリの実行と同じです。

ディスカバリ

ジョブ名:

ディスカバリ_202007131605

	IPアドレス範囲	ポート番号	ユーザーID	パスワード	強制	
1	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>	⊖ ⊕
2	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>	⊖ ⊕

実行

キャンセル

● ディスカバリ再実行時の注意事項

ディスカバリによって発見されている機器がある状態で再度ディスカバリを実行した場合、これらの機器に対する処理は、ディスカバリ条件の設定と機器の管理状態により異なります。

＜既に発見されている機器をディスカバリ条件から削除して再実行した場合＞

- ・ 当該機器に対する探索処理は実行されません。
- ・ 当該機器が管理状態になっていない場合は構成ビューア画面から削除されます。



＜既に発見されている機器をディスカバリ条件に設定したまま再実行した場合＞

- ・ 探索処理は「機器の管理状態」と「強制探索オプションの指定」に応じて実行されます。
管理状態になっている機器：強制探索オプションが「オン」の場合のみ再探索が行われます。
非管理状態の機器：強制探索オプションの指定によらず探索が行われます。


- ・再探索処理でエラーになった場合でも、発見済みの機器は構成ビューア画面から削除されません。

(6) アイコン一覧

【サーバ機器のリソースを示すアイコン】

アイコン	説明
	非管理状態の機器
	管理状態の機器

【サーバ機器のステータスを示すアイコン】

アイコン	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ・機器への接続に失敗 ・機器への接続に成功したが、サポート対象外の機器

(7) 発見した機器の全削除

ディスカバリによって見つかった機器をすべて削除し初期状態に戻す場合は、すべての機器を非管理状態にしたのち、ディスカバリ条件を削除した状態で、再度ディスカバリを実行します。

管理対象機器の非管理状態にする手順は「(4) 管理対象の登録・削除」の管理対象の削除を参照してください。

ディスカバリ条件を⊖ボタンで全て削除します。

ディスカバリ

ジョブ名:

ディスカバリ_202007131605

	IPアドレス範囲	ポート番号	ユーザーID	パスワード	強制	
1	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>	⊖ ⊕
2	10.1.1.1/24	443	Administrator	*****	<input type="checkbox"/>	⊖ ⊕

実行

キャンセル

条件が何もない状態でディスカバリを実行します。

ディスカバリ

ジョブ名:

ディスカバリ_202007211208

IPアドレス範囲	ポート番号	ユーザーID	パスワード	強制

実行

キャンセル

2.6. 設定のエクスポート・インポート

設定のエクスポート・インポートにはオーナー権限が必要です。

設定のエクスポートは、サーバ構成ビューアのインストール環境をリプレイスする場合のデータ移行、ならびに定期的なデータのバックアップを目的として使用します。

設定のインポートは、設定のエクスポート機能によって出力された拡張子が dat のファイルをサーバ構成ビューアにインポートする機能です。サーバ構成ビューアのインストール環境をリプレイスする場合のデータ移行、ならびに万が一の障害時にあらかじめエクスポートしておいたデータからのリストアを目的として使用します。

(1)エクスポート

[メニュー]ドロップダウンリストから[設定のエクスポート]を選択します。

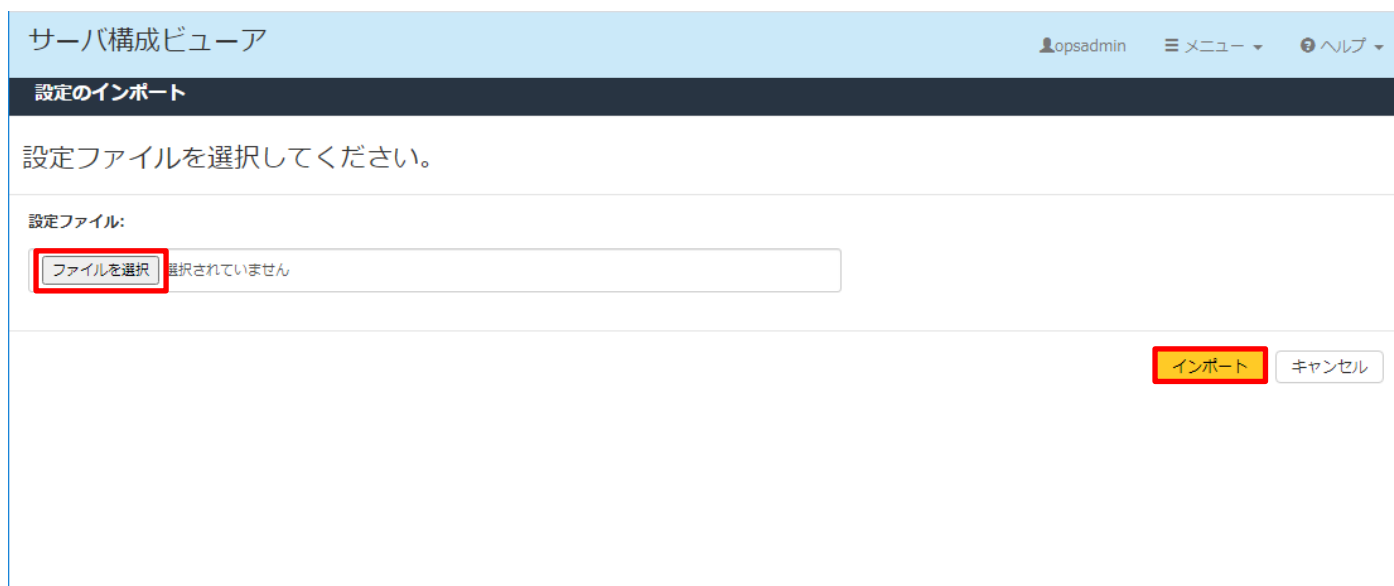
The screenshot shows the 'サーバ構成ビューア' (Server Configuration View) interface. At the top, there's a header with 'opsadmin', a menu icon, and a help icon. Below the header, there are tabs: 'メンバ', 'システム', '構成ビューア', and '運用ジョブ'. The '構成ビューア' tab is active. On the right side, a dropdown menu is open, showing options: 'ユーザー設定の変更', 'パスワードの変更', '設定のエクスポート' (highlighted with a red box), '設定のインポート', 'ライセンスキーの登録', 'ログアウト', and '構成ビューアへ'. Below the menu, there's a table with columns '種別', '名前', and '説明'. The table lists three items: 'HITACHI HA8000V/RV3000 Series', 'vCenter Server', and 'vCenter Server'. At the bottom left, there's a file icon and the text 'settings.dat'. At the bottom right, there's a button labeled 'すべて表示' and a close icon 'X'.

(2)インポート

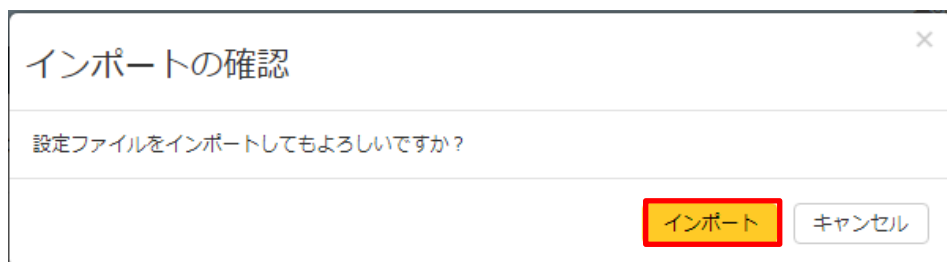
[メニュー]ドロップダウンリストから[設定のインポート]を選択します。

The screenshot shows the 'サーバ構成ビューア' (Server Configuration View) interface, similar to the previous one. The dropdown menu is open, and the '設定のインポート' (Import Settings) option is highlighted with a red box. The rest of the interface, including the tabs, table, and bottom buttons, is the same as in the previous screenshot.

[設定のインポート]画面が表示されるので、[ファイルを選択]ボタンからインポートするファイルを指定して、[インポート]ボタンをクリックします。



[インポートの確認]ダイアログが表示されるので、[インポート]ボタンをクリックするとインポートが実行されます。



● インポートの注意事項

- ・ インポートの処理は、サーバ構成ビューアに登録されている設定情報は削除せずに、インポート対象ファイルのデータを追加で登録します。
データの重複等の不整合が発生する可能性があるため、必ず初期状態の環境にインポートしてください。
- ・ エクスポートデータにライセンスキーは含まれていません。再インストールした場合などは、ライセンスキーを登録したのち、データをインポートしてください。ライセンスキーを登録することで、エクスポート時点のデータを継続して使用することができます。
- ・ インポートが完了すると、強制的にログアウトしてログイン画面に遷移します。

3. 運用者の操作

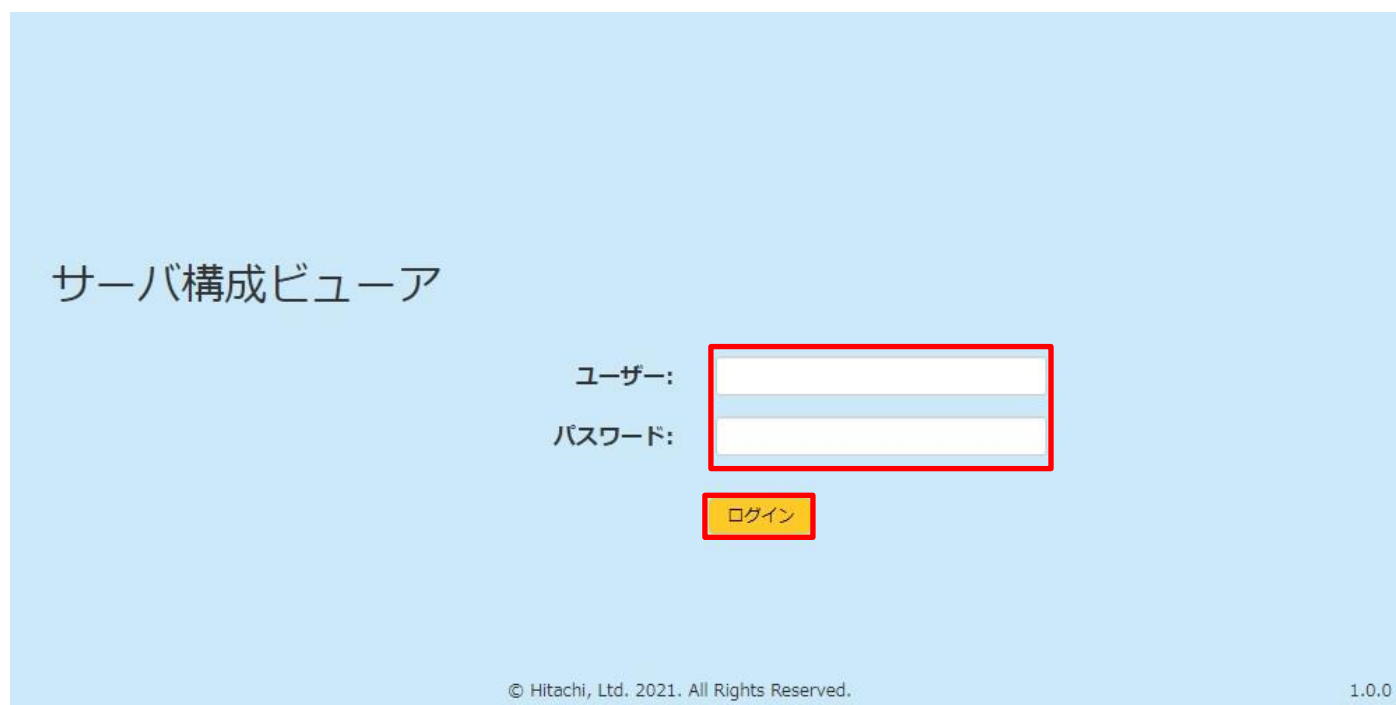
3.1. ログイン・ログアウト

(1)ログイン

サーバ構成ビューアにログインするには下記の URL にアクセスしてください。使用できる Web ブラウザは、「1.2. 事前準備」を参照してください。

URL: <u>http://サーバ構成ビューアのホスト名(または IP アドレス)/</u>	(HTTP 接続の場合)
URL: <u>https://サーバ構成ビューアのホスト名(または IP アドレス)/</u>	(HTTPS 接続の場合)

URL にアクセスすると次のログインフォーム画面が表示されます。ユーザーとパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックしてログインしてください。



ログインすると、ユーザーの権限に応じてシステム画面または構成ビューア画面が表示されます。

No.	ユーザーの権限	表示画面
1	オーナー権限	[システム]画面
2	メンバ権限	[システム]画面
3	閲覧権限	[構成ビューア]画面

サーバ構成ビューア			
メンバ		システム	構成ビューア 運用ジョブ
システムの追加▼			
種別	名前	説明	操作
HITACHI HA8000V/RV3000 Series	HA8000V/RV3000 Series		構成ビューアへ ▼
vCenter Server	vCenter Server 6		構成ビューアへ ▼
vCenter Server	vCenter Server 7		構成ビューアへ ▼

● 初めてログインするとき

メンバが初めてログインするときは、次のユーザーとパスワードを入力してください。

ユーザー	: [メンバの追加]ダイアログで入力したユーザーID
パスワード	: P@ssw0rd

[メンバの追加]ダイアログで入力したユーザーID とは、管理者がサーバ構成ビューアにユーザーを登録したときの任意の ID です。不明な場合は管理者に問い合わせてください。

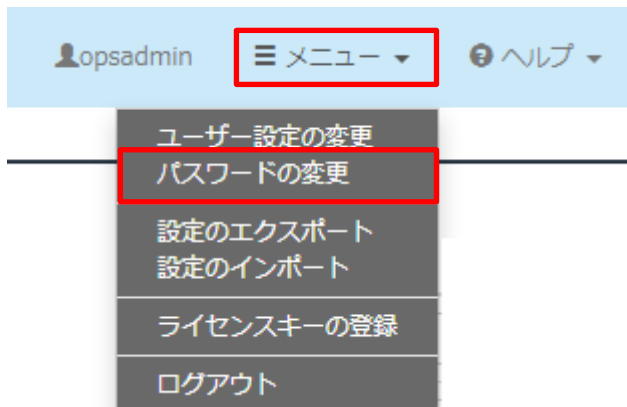
[メンバの追加]ダイアログについては「2.2. メンバの追加・編集・削除」を参照してください。

初回ログインすると、必ずパスワードの変更画面に遷移します。任意の新しいパスワードを入力して[保存]ボタンをクリックしてください。パスワードの有効期間は 180 日間です。

サーバ構成ビューア	
opsadmin	メニュー ヘルプ
設定	
パスワードの変更	
元のパスワード:	説明 変更するパスワード情報を入力してください。 パスワードポリシー <ul style="list-style-type: none"> 8文字以上、16文字以下 文字、数字が1文字以上含まれる 元のパスワードと同じ文字列は不可 180日間有効
新しいパスワード:	
新しいパスワードの確認:	
<div>保存</div> <div>キャンセル</div>	

● パスワードを変更するとき

パスワードを変更するときは、画面右上の[メニュー] - [パスワードの変更]をクリックするとパスワードの変更画面が表示されます。任意の新しいパスワードを入力して[保存]ボタンをクリックしてください。パスワードの有効期間は 180 日間です。



- パスワードの有効期限が切れてしまったとき

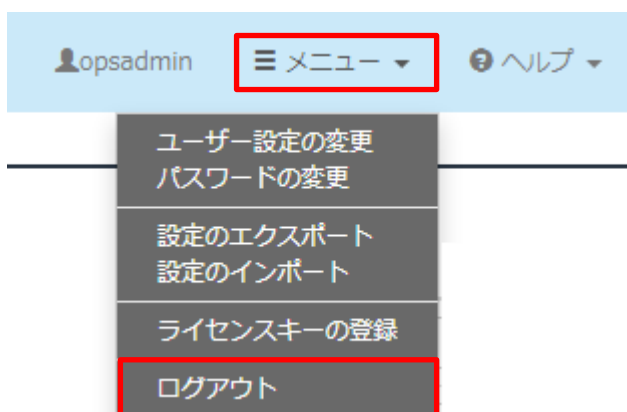
ログインフォーム画面で入力したパスワードの有効期限を経過していてもログイン可能です。ただし、ログイン後にパスワードの変更画面に必ず遷移します。任意の新しいパスワードを入力して[保存]ボタンをクリックしてください。パスワードの有効期間は 180 日間です。

- ログインに失敗するとき(パスワードエラー)、パスワードを忘れてしまったとき

ログインに失敗するときやパスワードを忘れてしまったときは管理者に連絡してください。一旦、メンバを削除した後、再度メンバの追加をする必要があります。メンバの削除・追加にはオーナー権限が必要です。

(2)ログアウト

サーバ構成ビューアからログアウトするには、画面右上の[メニュー] - [ログアウト]をクリックしてください。ログアウトするとログインフォーム画面に遷移します。



3.2. 構成の確認

構成ビューア画面では、論理構成および物理構成をわかりやすい構成図で確認できます。

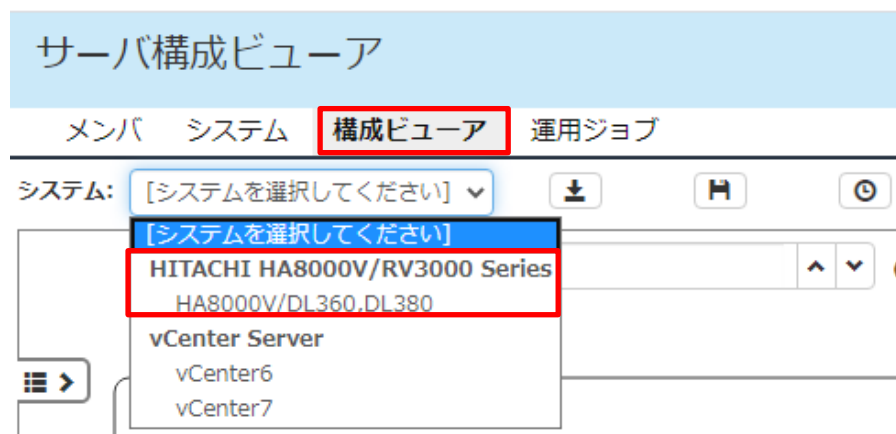
3.2.1. HA8000V/RV3000 の構成確認

構成ビューア画面で表示される内容は、次のとおりです。

No.	項目	説明
1	基本表示	アイコンを使用して物理構成を可視化します。
2	詳細表示	アイコン単位に詳細なプロパティを表示します。
3	表示切り替え	ステータス表示、グループ化表示などのオプションを表示します。
4	ツリー表示	物理構成をツリー形式で表示します。

(1)基本表示

画面上部の[構成ビューア]タブをクリックすると、構成ビューア画面が表示されます。左上の[システム]ドロップダウンボックスから HA8000V/RV3000 の構成を選択すると、構成図が表示されます。



構成ビューア画面は次の 5 つの領域で構成しています。



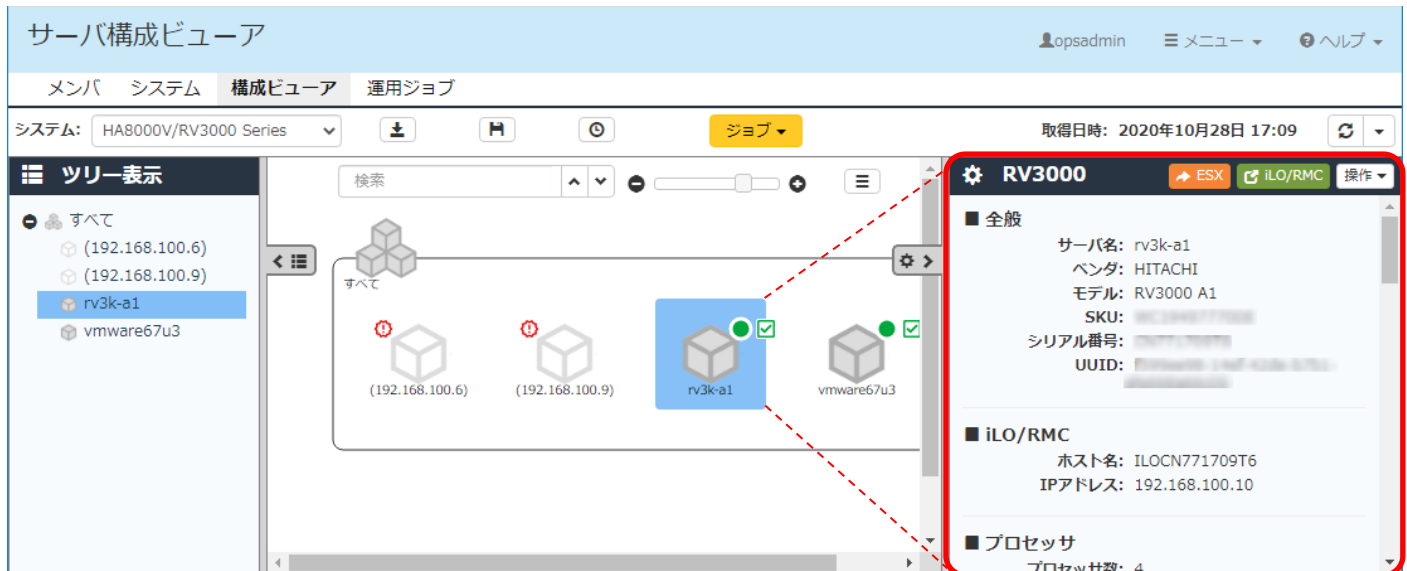
各領域の説明を次の表に示します。

No.	領域	説明
1	メニュー領域	<p>構成ビューアに対するさまざまな操作メニューを表示する領域です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム 構成ビューア画面で表示する構成を選択して切り替えます。 ● エクスポート 表示している構成の構成図と構成情報をエクスポートできます。詳細は「3.4 構成情報のエクスポート」を参照してください。 ● 構成履歴保存 表示している構成の構成情報を保存できます。詳細は「3.5 構成履歴の保存」を参照してください。 ● 構成履歴一覧 「構成履歴保存」で保存した構成情報を参照できます。詳細は「3.5 構成履歴の保存」を参照してください。 ● ジョブ 機器に対してジョブを実行できます。詳細は「3.3.1 HA8000V/RV3000 へのジョブ実行」を参照してください。 ● 取得日時 構成情報を取得した日時を表示します。 ● 画面更新 構成ビューア画面を再表示します。 ● 構成取得 現在の構成情報を取得します。
2	ツリー領域	構成をツリー表示する領域です。開閉可能です。
3	構成図設定領域	構成図を操作するメニューを表示する領域です。

		<ul style="list-style-type: none"> ● 検索 入力した文字列に部分一致する各リソースの名前、機器のIPアドレス、iLO/RMCバージョンなどのプロパティ値を逐次検索することができます。 ● 拡大縮小表示 スライダーを左右に移動させると、構成図が拡大または縮小表示されます。 ● 表示切り替え 構成図に重ねて表示する項目を切り替えることができます。詳細は「(3)表示切り替え」を参照してください。
4	構成図領域	構成図を表示する領域です。
5	プロパティ領域	<p>構成図で選択されている要素の詳細情報を表示する領域です。開閉可能です。また、プロパティ領域にある次のボタンから他の画面に遷移することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 操作※1※2 構成図領域で選択した機器またはグループに対し、管理対象とする・しないを指定します。また、温度情報の表示機能に対応した機器、またはそれを含むグループ対し、温度情報を表示する・しないの指定と、温度情報のエクスポートができます。さらに、グループを選択している時、グループ化の追加・編集・削除が指定できます。グループ化を設定すると、設定した項目で機器をグループ化した構成図を表示できるようになります。グループ化設定については「(5)グループ化設定の追加・編集・削除」を参照してください。 ● ESX 仮想サーバ管理の[構成ビューア]画面に遷移し、該当機器のESXホストを選択した状態で表示します。 ● iLO/RMC※1 別ウィンドウでiLO/RMC管理サイトのログイン画面を表示します <p>※1 閲覧権限の場合は表示されません。 ※2 [構成履歴モード] の場合は表示されません。</p>

(2)詳細表示

構成図領域の各アイコンをクリックするとアイコンの背景色が水色になり、詳細情報が右側のプロパティ領域に表示されます。



同一種別のリソース(アイコン)は、Ctrl キーを押しながら選択することで同時に複数選択できますが、プロパティ領域には最初に選択したアイコンの詳細情報のみが表示されます。

(3)表示切り替え

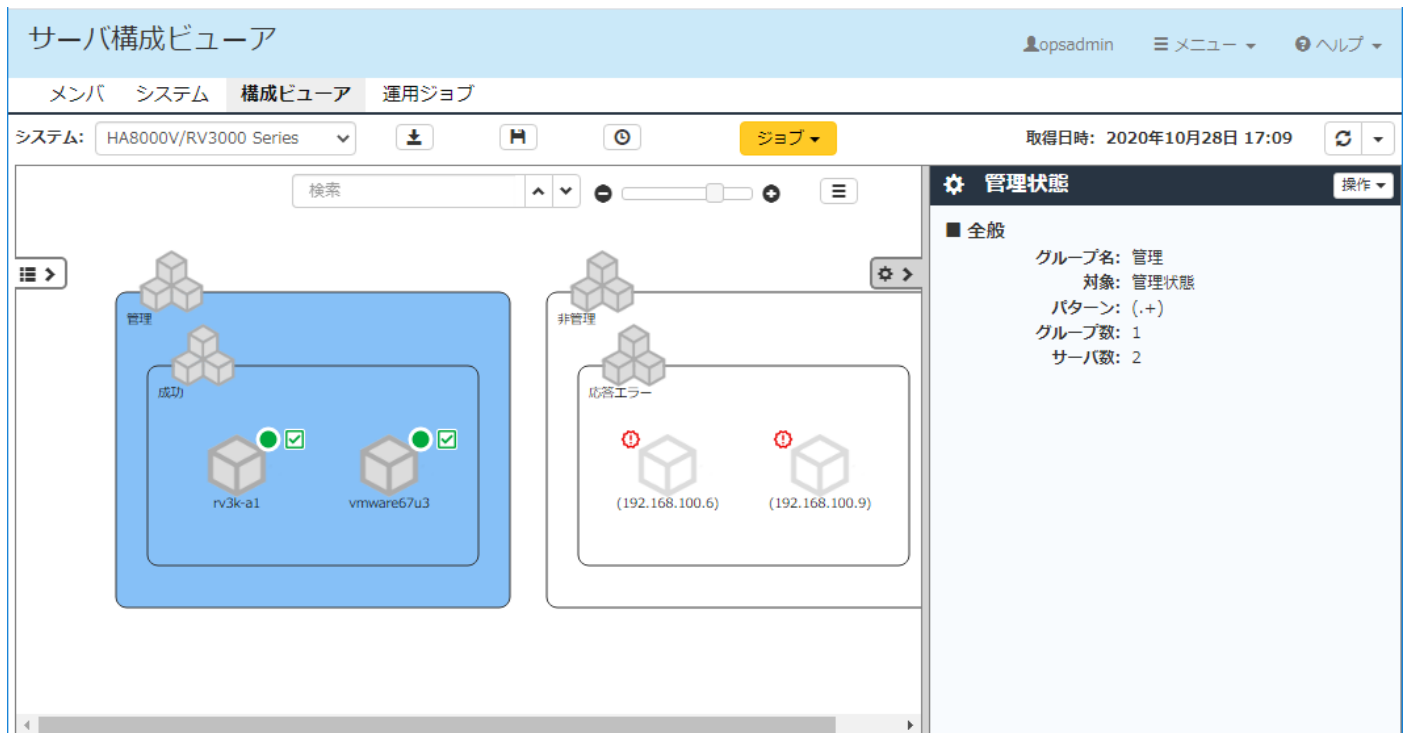
構成図領域の右上にある[表示切り替え]メニューにより、構成図に重ねて表示する項目を切り替えることができます。



[表示切り替え]メニューのオプションを次の表に示します。

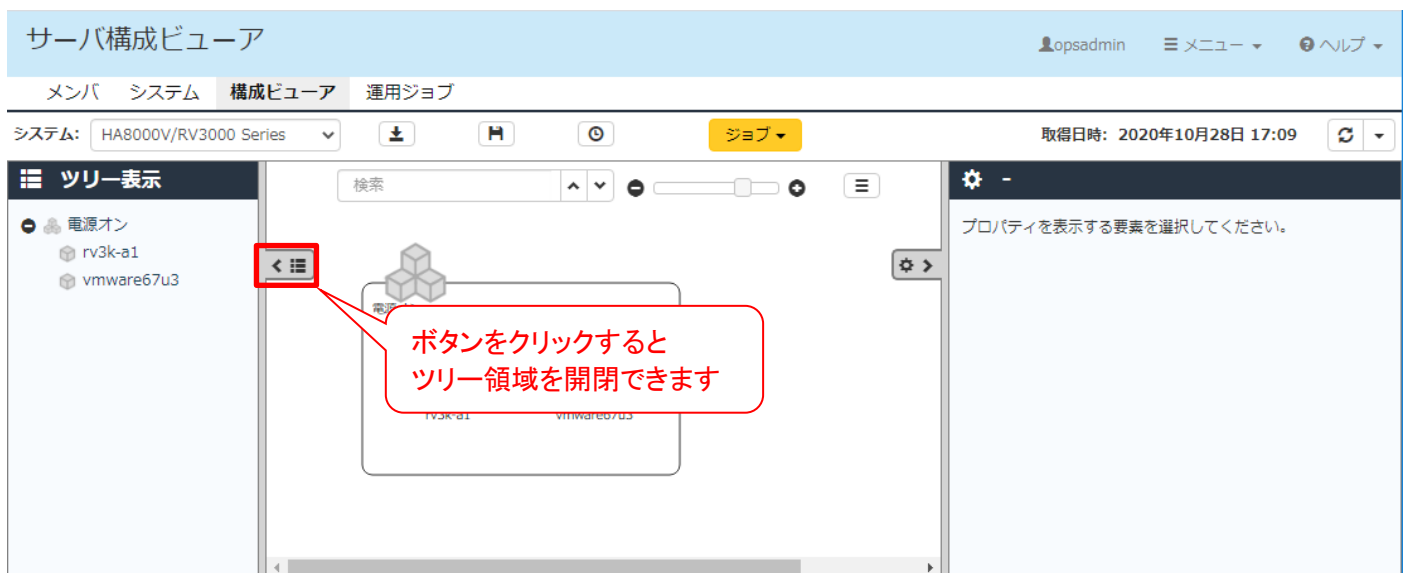
No.	オプション	説明
1	ステータス	機器の電源状態、システムヘルス、および温度状態の表示/非表示を切り替えます。
2	グループ化	グループ化設定した項目をプルダウンから選択すると、その項目でグループ化された構成図が表示されます。グループ化設定については「(5)グループ化設定の追加・編集・削除」を参照してください。

以下は、グループ化された構成図の例です。



(4) ツリー表示

各アイコンを階層構造で表示し、大量の機器を効率的に管理、検索できます。ツリー領域が閉じている場合は、構成図領域の左側のボタンをクリックしてください。



ツリー領域と構成図領域に表示される同一の管理対象のアイコンは、片方を選択するともう一方でも選択状態になります。例えば、ツリー領域の各アイコンを選択すると、構成図領域の該当するアイコンも自動的に選択状態になり画面内に表示されます。構成図領域のアイコンを選択した場合も同様にツリー領域の該当するアイコンが選択状態になります。

(5)グループ化設定の追加・編集・削除

グループ化設定をおこなうと、設定した項目でグルーピングした構成図を表示させることができます。

次の表に示すビルトイングループに加え、任意のグループ化設定を使用することが出来ます。

No.	名称	説明
1	電源状態	電源オン状態の機器と電源オフ状態の機器にグループ分けする。
2	管理状態	管理状態と非管理状態の機器にグループ分けし、さらにそれぞれのグループをディスカバリまたは構成情報の取得結果ごとにグループ化する。
3	しない	グループ化せず、「すべて」グループに全機器を表示する。

● グループ化設定の追加

「グループ」アイコンを選択して、プロパティ領域の右上に表示される[操作]から[追加]を選択すると[グループ化設定]ダイアログが表示されます。各項目を入力して[保存]ボタンをクリックしてください。

グループ化設定

名前:

	対象	パターン	グループ名	その他の除外
1階層目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
2階層目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>
3階層目	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

保存

キャンセル

各入力項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	名前※	任意の名称を入力します。ここに設定した名称が[表示切り替え]

			メニューの[グループ化]に表示されます。[表示切り替え]メニューについては「(3)表示切り替え」を参照してください。	
2	1 階層目 ※	対象※	グループ化する対象をドロップダウンリストから選択します。	
3		パターン※	グループ化するパターンを正規表現で入力します。JavaScript の正規表現パターンに従い、キャプチャを 1 つ以上含むパターンを入力してください。ここに設定したパターンと一致したプロパティ値の文字列で機器がグループ化されます。パターンと一致しない機器は「その他」グループに配置されます。 【パターンの入力例】	
			(.+)	プロパティ値の全体の文字列でグループ化する場合
			.*(.+)\$	ドットで区切られた文字列の後方文字列でグループ化する場合
			^(.[^¥/¥s]+)	HA8000V シリーズと RV3000 シリーズでグループ化する場合(この場合、対象で「モデル」を選択してください)
4		グループ名※	任意の名称を入力します。ここに設定した名称が「グループ」アイコンのラベルとして表示されます。パターンでキャプチャした文字列をグループ名に含める場合は「\$1」を入力してください。 【グループ名の入力例】	
			\$1	パターンでキャプチャした文字列をグループ名とする場合
			\$1 シリーズ	パターンでキャプチャした文字列をグループ名の一部として使用する場合
5		その他の除外	指定したパターンに一致しない機器が配置される「その他」グループを画面表示しない場合にチェックします。	
6	2 階層目	対象	1 階層目と同じです。	
7		パターン		
8		グループ名		
9		その他の除外		
10	3 階層目	対象	1 階層目と同じです。	
11		パターン		
12		グループ名		
13		その他の除外		

※入力必須の項目です。

以下は機器の設置場所によってグループ化表示するときの設定例です。

グループ化設定

名前:

	対象	パターン	グループ名	その他の除外
1階層目	<input type="text" value="サーバ名"/>	<input type="text" value="^.*¥(.+)"/>	<input type="text" value="サイト - \$"/>	<input type="checkbox"/>
2階層目	<input type="text" value="サーバ名"/>	<input type="text" value="\B(..)*S"/>	<input type="text" value="建屋 - \$1"/>	<input type="checkbox"/>
3階層目	<input type="text" value="サーバ名"/>	<input type="text" value="^\B..R(..)"/>	<input type="text" value="ラック位置"/>	<input type="checkbox"/>

保存

キャンセル

● グループ化設定の編集

グループ化表示をした構成図で「グループ」アイコンを選択して、プロパティ領域の右上に表示される[操作]から[編集]を選択すると、設定済みの[グループ化設定]ダイアログが表示され、編集できます。各項目の説明は「グループ化設定の追加」を参照してください。

● グループ化設定の削除

グループ化表示をした構成図で「グループ」アイコンを選択して、プロパティ領域の右上に表示される[操作]から[削除]を選択すると、[グループ化設定の削除]ダイアログが表示され、グループ化設定を削除できます。グループ化設定を削除した後にグループ化設定の復元は行えませんので、ご注意ください。

(6)温度情報の表示・非表示

温度情報の表示機能に対応したサーバ機器の場合、温度情報の表示有無を切り替えることができます。温度情報を表示する設定とした場合、プロパティ領域に入気温度と温度状態を示す項目が追加されます。また、構成図領域の機器に温度状態を示すアイコンが追加されます。

● 温度情報を表示する

温度情報の表示機能に対応したサーバ機器またはそれを含むグループを選択したうえで、[操作]ドロップダウンリストから[温度情報]-[表示する]を選択します。

サーバ構成ビューア

opsadmin メニュー ヘルプ

メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ

システム: HA8000V/RV3000 Series

取得日時: 2021年02月02日 10:36

検索

電源オフ 電源オン

dl580_host rv3k-a1 esxi67u3

RV3000

iLO/RMC 操作

ネットワークアダプタ

管理対象にする
管理対象から外す

MACアドレス

表示する
表示しない
エクスポート

温度情報

管理状態

状態	更新者	更新日時
管理	opsadmin	2021年01月18日 18:47

[温度情報を表示するサーバの選択]ダイアログが表示されるので、チェックがついているサーバ機器を確認したうえで、[OK]ボタンをクリックしてください。

温度情報を表示するサーバの選択

温度情報を表示するサーバをチェックしてください。チェックをオフにすると温度情報は非表示のままです。

サーバ: ☒ rv3k-a1

OK キャンセル

● 温度情報を非表示する

温度情報を表示する設定としたサーバ機器またはそれを含むグループを選択したうえで、[操作]ドロップダウンリストから[温度情報]-[表示しない]を選択します。

サーバ構成ビューア

opsadmin メニュー ヘルプ

メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ

システム: HA8000V/RV3000 Series

取得日時: 2021年02月02日 10:36

検索

電源オフ 電源オン

dl580_host rv3k-a1 esxi67u3

RV3000

iLO/RMC 操作

MACアドレス

管理対象にする
管理対象から外す

温度情報

表示する
表示しない
エクスポート

温度情報

入気温度: 30 °C
状態: 正常

管理状態

状態	更新者	更新日時
管理	opsadmin	2021年01月18日 18:47

[温度情報を表示しないサーバの選択]ダイアログが表示されるので、チェックがついているサーバ機器を確認したうえで、[OK]ボタンをクリックしてください。

温度情報を表示しないサーバの選択

温度情報を表示しないサーバをチェックしてください。チェックをオフにすると温度情報は表示のままです。

サーバ: ☒ rv3k-a1 ()

OK キャンセル

(7)アイコン一覧

【リソースを示すアイコンとラベル】



アイコンとラベル	上段: 対応するリソース、下段: ラベルの説明
 サイト - tokyo	グループ
	グループ名
 B01R01-001.toky o	機器
	サーバ名(管理状態)
 SRV1	機器
	サーバ名(非管理状態)

【電源の状態を示すアイコン】

アイコン	説明
	機器の電源がオン
	機器の電源がオフ

【システムの状態を示すアイコン】


アイコン	説明
	HA8000V/RV3000 の状態が正常※ ¹
	HA8000V/RV3000 の状態が警告※ ¹

	HA8000V/RV3000 の状態が異常※ ¹
	<ul style="list-style-type: none"> ・機器への接続に失敗※² ・機器への接続に成功したが、サポート対象外の機器※²

※¹ HA8000V/RV3000 から取得したシステムヘルスの情報を表示します。

※² ディスカバリ/構成取得の結果を示します。

【温度の状態を示すアイコン】※¹

アイコン	説明
	温度の状態が正常
	温度の状態が警告
	温度の状態がエラー
	温度の状態が不明

※¹ 温度情報を表示する設定とした機器のみ表示されます。

● HA8000V/RV3000 の構成確認に関する注意事項

- ・ 管理台数が多い場合、構成が画面に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・ タスクの実行中に構成情報の取得を行った場合、情報の一部が表示されないことがあります。この場合は、最新の構成を更新した後で画面を更新してください。
- ・ 複数のユーザーおよびWebブラウザから同一の機器を対象にした操作を同時に行わないでください。操作が競合すると予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 拡大縮小や表示切り替えメニューの設定状態、プロパティ領域やツリー領域の開閉状態はWebブラウザ単位に保存されるため、本システムを利用するPCおよびWebブラウザを変更すると引き継がれません。
- ・ 電源操作ジョブが完了しても、構成ビューアは自動的に更新されません。ジョブの完了後、最新の構成に更新した後で画面を更新してください。
- ・ HA8000V/RV3000から取得する情報のうち、次に示す項目(対象)のプロパティは日本語で表示されますが、グループ化のパターンで値を評価する場合は[実際の値]を使用してください。例えば、シ

システムヘルスが異常または警告の機器をグループ化する場合は、パターンに「(Error|Warning)」と入力してください。

項目(対象)	プロパティ	
	表示される値	実際の値
電源状態	オン	On
	オフ	Off
システムヘルス	正常	Normal
	警告	Warning
	異常	Error
LID	オン	On
	オフ	Off

- ・ サーバ機器の温度情報を表示する設定にして温度情報を監視する場合、システム設定の「構成情報の自動取得間隔(分)」を15分以下に設定してください。システム設定の編集については、「2.4.1(2)HA8000V/RV3000のシステム設定編集」を参照してください。

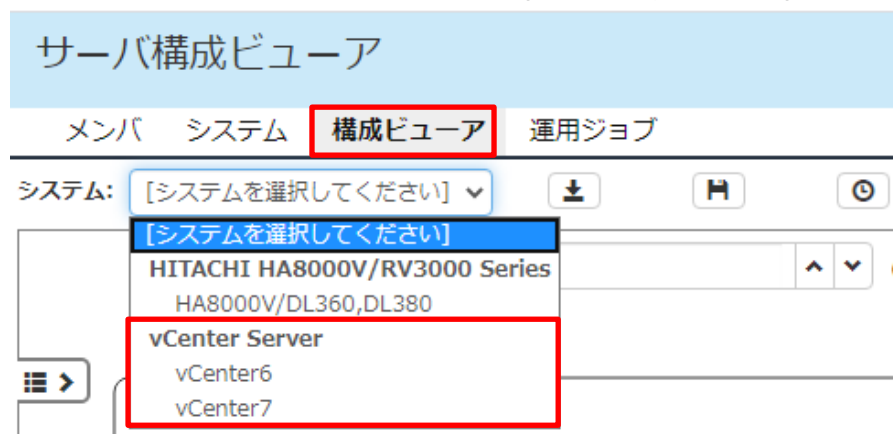
3.2.2. vCenter の構成確認

構成ビューア画面で表示される内容は、次のとおりです。

No.	項目	説明
1	基本表示	アイコンを使用して、論理構成を可視化します。
2	詳細表示	アイコン単位に詳細なプロパティを表示します。
3	表示切り替え	電源ステータスやリソースプールなどのオプションを表示します。
4	ツリー表示	論理構成をツリー形式で表示します。

(1)基本表示

画面上部の[構成ビューア]タブをクリックすると、構成ビューア画面が表示されます。左上の[システム]ドロップダウンボックスから vCenter の構成を選択すると、構成図が表示されます。



構成ビューア画面は次の 5 つの領域で構成しています。



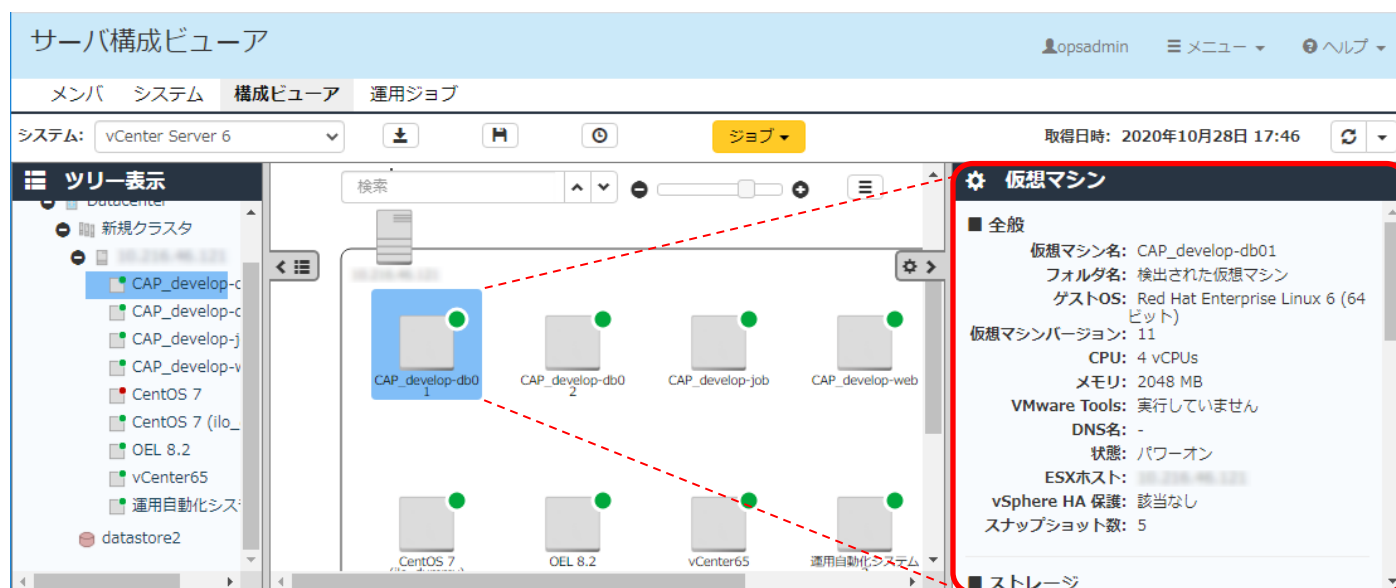
各領域の説明を次の表に示します。

No.	領域	説明
1	メニュー領域	<p>構成ビューアに対するさまざまな操作メニューを表示する領域です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● システム 構成ビューア画面で表示する構成を選択して切り替えます。 ● エクスポート 表示している構成の構成図と構成情報をエクスポートできます。詳細は「3.4 構成情報のエクスポート」を参照してください。 ● 構成履歴保存 表示している構成の構成情報を保存できます。詳細は「3.5 構成履歴の保存」を参照してください。 ● 構成履歴一覧 「構成履歴保存」で保存した構成情報を参照できます。詳細は「3.5 構成履歴の保存」を参照してください。 ● ジョブ 仮想マシンに対してジョブを実行できます。詳細は「3.3.2 vCenterへのジョブ実行」を参照してください。 ● 取得日時 構成情報を取得した日時を表示します。 ● 画面更新 構成ビューア画面を再表示します。 ● 構成取得 現在の構成情報を取得します。
2	ツリー領域	構成をツリー表示する領域です。開閉可能です。
3	構成図設定領域	<p>構成図を操作するメニューを表示する領域です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 検索 入力した文字列に部分一致する各リソースの名前、仮想マシンのIPアドレス、DNS名を逐次検索することができます。 ● 拡大縮小表示 スライダーを左右に移動させると、構成図が拡大または縮小表示されます。 ● 表示切り替え 構成図に重ねて表示する項目を切り替えることができます。詳細は「(3)表示切り替え」を参照してください。
4	構成図領域	構成図を表示する領域です。
5	プロパティ領域	構成図で選択されている要素の詳細情報を表示する領域です。開閉可能です。また、プロパティ領域にある次のボタンから他の画面に遷移することができます。

		<ul style="list-style-type: none"> ● vSphere※ vSphere Web Client画面を別ウィンドウで表示します。このボタンは、「vCenter」アイコンを選択した場合のみ表示されます。 ● サーバ 選択したESXホストが動作している機器の構成ビューアに遷移します。このボタンは、「ESXホスト」アイコンを選択した場合のみ表示されます。ただし、同じMACアドレスを持つ機器が見つからない場合は表示されません。 ● ESX※ ESXのWebクライアント画面を別ウィンドウで表示します。このボタンは、「ESXホスト」アイコンを選択した場合のみ表示されます。 <p>※ 閲覧権限の場合は表示されません。</p>
--	--	--

(2)詳細表示

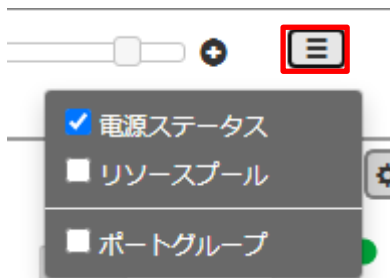
構成図領域の各アイコンをクリックするとアイコンの背景色が水色になり、詳細情報が右側のプロパティ領域に表示されます。



同一种別のリソース(アイコン)は、Ctrl キーを押しながら選択することで同時に複数選択できますが、プロパティ領域には最初に選択したアイコンの詳細情報のみが表示されます。

(3)表示切り替え

構成図領域の右上にある[表示切り替え]メニューにより、構成図に重ねて表示する項目を切り替えることができます。



電源のステータス、リソースプールなどの追加情報を表示して、さらに細かい情報を確認できます。次の図はポートグループをオンにした例です。表示されたポートグループを選択すると、同時に同じポートグループもハイライト表示されます。特定の仮想マシンのすべてに同じポートグループが割り当たっていることを確認できます。

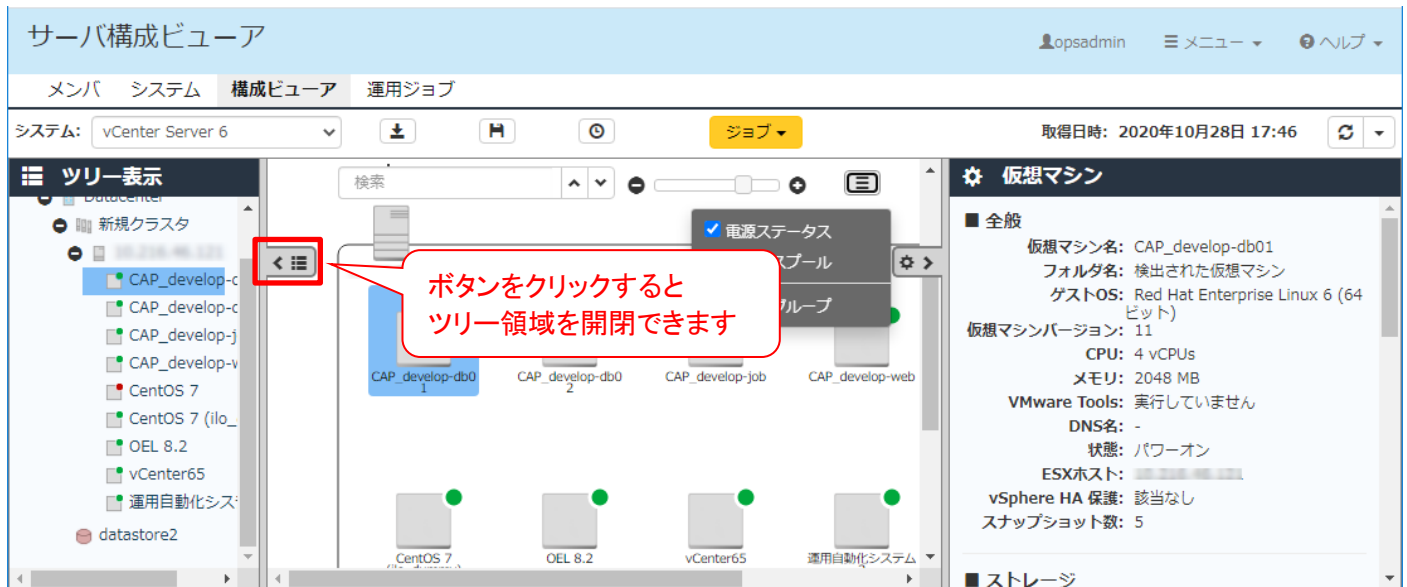


[表示切り替え]メニューのオプションを次の表に示します。

No.	オプション	説明
1	電源ステータス	仮想マシンの電源状態の表示/非表示を切り替えます。
2	リソースプール	仮想マシンに割り当てられたリソースプールを表示します。
3	ポートグループ	仮想マシンに割り当てられたポートグループを表示します。複数のポートグループが割り当てられている場合は個々に表示します。同一のポートグループが割り当てられているかを確認するために使用します。

(4)ツリー表示

各アイコンを階層構造で表示し、大量の仮想マシンを効率的に管理、検索できます。ツリー領域が閉じている場合は、構成図領域の左側のボタンをクリックしてください。ツリー領域では、仮想マシンの電源状態が常に表示されています。



ツリー領域と構成図領域に表示される同一の管理対象のアイコンは、片方を選択するともう一方でも選択状態になります。例えば、ツリー領域の各アイコンを選択すると、構成図領域の該当するアイコンも自動的に選択状態になり画面内に表示されます。構成図領域のアイコンを選択した場合も同様にツリー領域の該当するアイコンが選択状態になります。




(5)アイコン一覧

【リソースを示すアイコン】




アイコン	対応するリソース
	vCenter
	データセンタ
	クラスタ
	ESX ホスト
	仮想マシン
	テンプレート

	データストア
---	--------

【リソースのラベル】

ラベル	説明
	リソースプール名
	分散仮想スイッチのポートグループ名
	標準仮想スイッチのポートグループ名

【リソースの状態を示すアイコン】

アイコン	説明
	仮想マシンの電源がオン
	仮想マシンの電源がオフ
	仮想マシンの電源がサスペンド

● vCenter の構成確認に関する注意事項

- ・ 管理台数が多い場合、構成が画面に表示されるまで時間がかかることがあります。
- ・ 仮想マシン作成などのタスクの実行中に構成情報の取得を行った場合、情報の一部が表示されないことがあります。この場合は、最新の構成を更新した後で画面を更新してください。
- ・ 構成ビューで仮想マシンを16台以上同時に選択するとジョブボタンは非活性表示となります。
- ・ 複数のユーザーおよびWebブラウザから同一の仮想マシンを対象にした操作を同時に行わないでください。操作が競合すると予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 拡大縮小や表示切り替えメニューの設定状態、プロパティ領域やツリー領域の開閉状態はWebブラウザ単位に保存されるため、本システムを利用するPCおよびWebブラウザを変更すると引き継がれ

ません。

- ・ 電源操作ジョブが完了しても、構成ビューアは自動的に更新されません。ジョブの完了後、最新の構成に更新した後で画面を更新してください。
- ・ 仮想マシンに割り当てられたポートグループが削除されている場合でも、そのポートグループのラベルは表示されます。ポートグループ名以外の詳細情報は表示されません。

3.3. ジョブの実行・確認

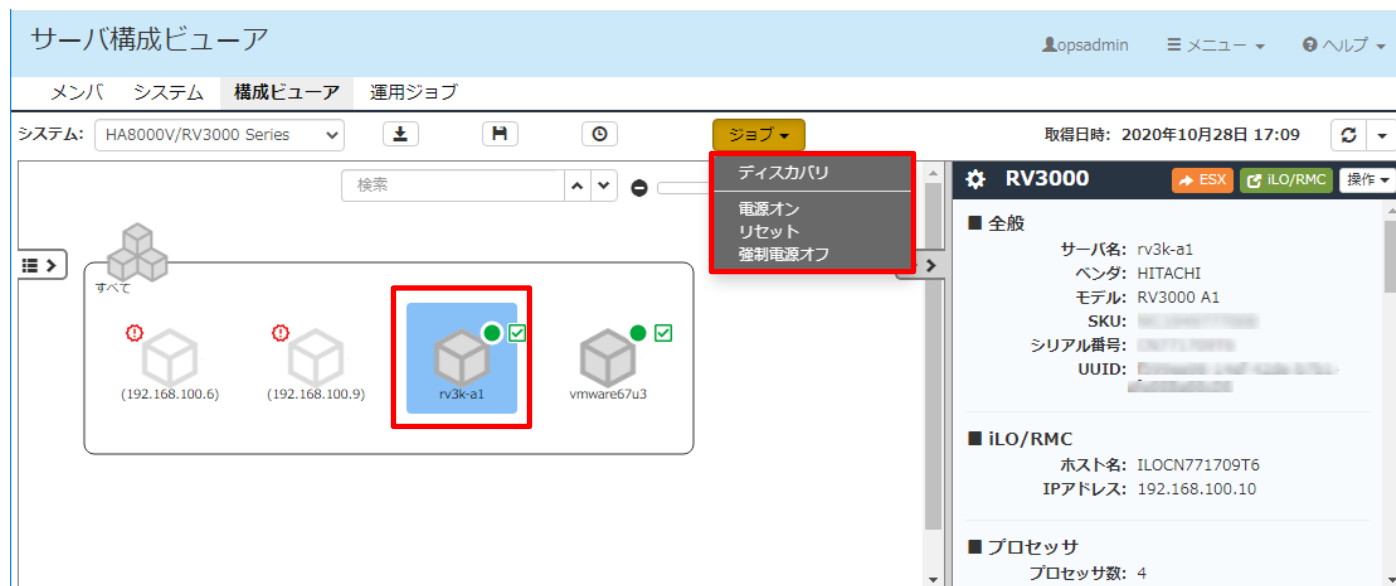
ジョブとは、1つの対象リソースとリソースを操作するパラメータおよび実行契機を定義したものです。ジョブを登録すると対応するタスクを生成します。定期実行ジョブの場合は、指定した周期に合わせて複数のタスクを生成します。実行契機になるとタスクは定義されたリソースに対して操作を開始します。

3.3.1. HA8000V/RV3000 へのジョブ実行

ジョブを登録、実行して構成ビューア画面の機器を操作できます。登録可能なジョブは次のとおりです。

No.	ジョブの種類	種別	説明
1	電源オン	電源操作	機器の電源をオンにします。ジョブ実行後の電源の状態は構成ビューアの構成図に表示される実行対象のアイコンで確認します。
2	リセット		機器を再起動します。
3	強制電源オフ		機器を強制的にシャットダウンします。ジョブ実行後の電源の状態は構成ビューアの構成図に表示される実行対象のアイコンで確認します。
4	ディスカバリ	探索	サーバ機器を探索します。

ジョブを登録するには、構成ビューア画面の構成図またはツリー上から実行対象のアイコンを選択し、メニュー領域にある[ジョブ]メニューから登録するジョブを選択します。



電源操作系ジョブでは、複数の機器を選択してジョブを一度に登録することができます。例えば、10台の機器を選択してジョブを登録すると、ジョブ名の末尾には自動的に連番が付与され、10個のジョブが登録されます。なお、一度に複数選択でジョブを登録できる機器は、最大15台までです。

(1)電源オン

[ジョブ]メニューの[電源オン]を選択すると、[電源オン]ダイアログが表示されます。

電源オン

ジョブ名:

電源オン_202007151110

リソースキー:

38314357-3237-4E43-3737-411111111111

リソース名:

SERVER-DL360

スケジュールタイプ:



即時実行

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「電源オン_yyyyMMddHHmm」です。
2	リソースキー	機器を特定する識別 ID が自動的に設定されます。編集できません。
3	リソース名	機器の名前が自動的に設定されます。編集できません。
4	スケジュールタイプ※	<p>次の 3 つのパターンから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 即時実行: 登録と同時にジョブが実行されます。● スケジュール実行: 指定日時に1回、ジョブが実行されます。 <div><div>スケジュールタイプ:</div><div>スケジュール実行</div></div> <div><div>開始日:</div><div>2020/08/24</div><div></div></div> <div><div>実行時刻:</div><div>0</div><div>0</div></div> <p>開始日:ジョブ実行日を指定します。 実行時刻:ジョブ実行時刻を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none">● 定期実行: 特定の期間中、ジョブが繰り返し実行されます。

		<p>スケジュールタイプ: 定期実行 ▼</p> <p>開始日: 2020/08/24 </p> <p>終了日: 2021/08/23 </p> <p>繰り返しタイプ: 月次 ▼</p> <p>実行日: 1 ▼ 日 <input type="checkbox"/> 月末</p> <p>実行時刻: 0 0</p> <p>開始日: ジョブ実行開始日を指定します。</p> <p>終了日: ジョブ実行終了日を指定します。</p> <p>繰り返しタイプ: 日次、週次、月次から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日次: 毎日、指定した時刻にジョブを実行します。 ・週次: 毎週、指定した曜日にジョブを実行します。 ・月次: 毎月1回、指定した日にジョブを実行します。月末を指定する場合は月末のチェックボックスをチェックします。 <p>実行時刻: ジョブ実行時刻を指定します。</p>
--	--	---


※入力必須の項目です。

(2)リセット

[ジョブ]メニューの[リセット]を選択すると、[リセット]ダイアログが表示されます。

リセット ×

ジョブ名: リセット_202007151114

リソースキー: 38314357-3237-4E43-3737-

リソース名: SERVER-DL360

スケジュールタイプ: 即時実行 ▼

実行
キャンセル


各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名以外の項目は、[電源オン]ジョブと同じです。「(1)電源オン」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「リセット_yyyyMMddHHmm」です。

※入力必須の項目です。

(3)強制電源オフ

[ジョブ]メニューの[強制電源オフ]を選択すると、[強制電源オフ]ダイアログが表示されます。



強制電源オフ

ジョブ名: 強制電源オフ_202007151117

リソースキー: 38314357-3237-4E43-3737-1 ■■■■

リソース名: SERVER-DL360

スケジュールタイプ: 即時実行 ▼

実行 キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名以外の項目は、[電源オン]ジョブと同じです。「(1)電源オン」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「強制電源オフ_yyyyMMddHHmm」です。

※入力必須の項目です。

● HA8000V/RV3000 へのジョブ実行に関する注意事項

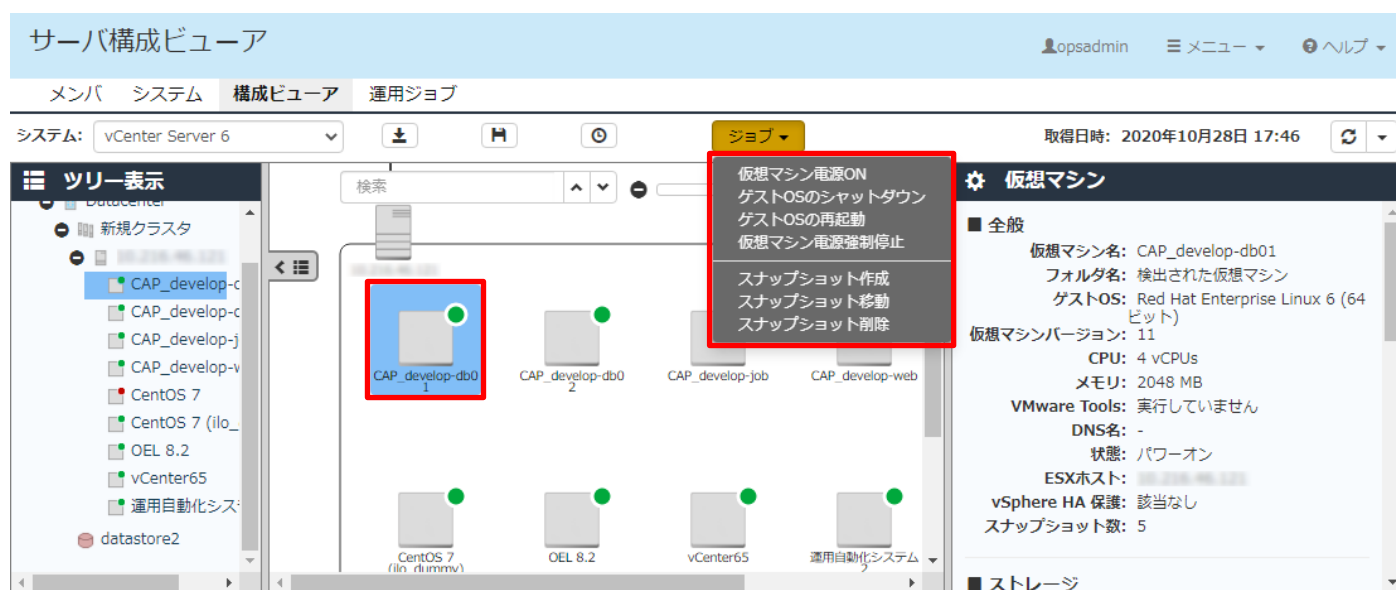
- ・ 複数のユーザーおよびWebブラウザから同一のジョブおよびタスクを対象にした操作を同時に行わないでください。操作が競合すると予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 1つの操作対象に対して、同時刻に実行するジョブを複数登録しないでください。登録した場合、予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 運用ジョブ画面において、カレンダーおよび時間の入力支援ダイアログを表示して日付または時間を入力してもダイアログは自動的に閉じません。ダイアログを閉じるには、ダイアログ以外の場所をクリックしてください。
- ・ 定期実行ジョブで月末にジョブを実行する場合は、「月末」チェックをオンにしてください。31日を指定した場合、30日が月末の月にはジョブは実行されません。
- ・ 電源操作ジョブでエラーが発生した場合、しばらく時間をおいてから再実行することでエラーが解消することがあります。繰り返すエラーが発生する場合は管理者に連絡してください。

3.3.2. vCenter へのジョブ実行

ジョブを登録、実行して構成ビュー画面の仮想マシンを操作できます。登録可能なジョブは次のとおりです。

No.	ジョブの種類	種別	説明
1	仮想マシン電源 ON	電源操作	仮想マシンの電源をオンにします。
2	ゲスト OS のシャットダウン		仮想マシンのゲスト OS をシャットダウンします。
3	ゲスト OS の再起動		仮想マシンのゲスト OS を再起動します。
4	仮想マシン電源強制停止		仮想マシンの電源を強制的にオフにします。
5	スナップショット作成	スナップショット操作	仮想マシンにスナップショットを作成します。
6	スナップショット移動		仮想マシンをスナップショットまで移動します。
7	スナップショット削除		仮想マシンのスナップショットを削除します。

ジョブを登録するには、構成ビュー画面の構成図またはツリー上から実行対象のアイコンを選択し、メニュー領域にある[ジョブ]メニューから登録するジョブを選択します。仮想マシン以外のアイコンを選択している場合は、メニューは表示されません。



電源操作系ジョブでは、複数の仮想マシンを選択してジョブを一度に登録することができます。例えば、10 台の仮想マシンを選択してジョブを登録すると、ジョブ名の末尾には自動的に連番が付与され、10 個のジョブが登録されます。なお、一度に複数選択でジョブを登録できる仮想マシンは、最大 15 台までです。

(1) 仮想マシンの電源 ON

[ジョブ]メニューの[仮想マシン電源 ON]を選択すると、[仮想マシン電源 ON]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

仮想マシン電源ON

×

ジョブ名:

仮想マシン電源ON_202007161559

リソースキー:

vm-25

リソース名:

CAP_develop-db01

スケジュールタイプ:

即時実行

▼

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「仮想マシン電源ON_yyyyMMddHHmm」です。
2	リソースキー	仮想マシンを特定する識別 ID が自動的に設定されます。編集できません。
3	リソース名	仮想マシンの名前が自動的に設定されます。編集できません。
4	スケジュールタイプ※	<p>次の 3 つのパターンから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 即時実行: 登録と同時にジョブが実行されます。 ● スケジュール実行: 指定日時に1回、ジョブが実行されます。 <div> <div>スケジュールタイプ:</div> <div>スケジュール実行</div> <div>▼</div> </div> <div> <div>開始日:</div> <div>2020/08/24</div> <div>≡</div> </div> <div> <div>実行時刻:</div> <div>0</div> <div>0</div> </div> <p>開始日:ジョブ実行日を指定します。 実行時刻:ジョブ実行時刻を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 定期実行: 特定の期間中、ジョブが繰り返し実行されます。

		<p>スケジュールタイプ: 定期実行 ▼</p> <p>開始日: 2020/08/24 📅</p> <p>終了日: 2021/08/23 📅</p> <p>繰り返しタイプ: 月次 ▼</p> <p>実行日: 1 ▼ 日 <input type="checkbox"/> 月末</p> <p>実行時刻: 0 0</p> <p>開始日: ジョブ実行開始日を指定します。</p> <p>終了日: ジョブ実行終了日を指定します。</p> <p>繰り返しタイプ: 日次、週次、月次から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日次: 毎日、指定した時刻にジョブを実行します。 ・週次: 毎週、指定した曜日にジョブを実行します。 ・月次: 毎月1回、指定した日にジョブを実行します。月末を指定する場合は月末のチェックボックスをチェックします。 <p>実行時刻: ジョブ実行時刻を指定します。</p>
--	--	---

※入力必須の項目です。

(2)ゲスト OS のシャットダウン

[ジョブ]メニューの[ゲストOSのシャットダウン]を選択すると、[ゲストOSのシャットダウン]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

×

ゲストOSのシャットダウン

ジョブ名:

ゲストOSのシャットダウン_202007161602

リソースキー:

vm-25

リソース名:

CAP_develop-db01

スケジュールタイプ:

即時実行 ▼

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名以外の項目は、[仮想マシン電源ON]ジョブと同じです。
「(1)仮想マシンの電源ON」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「ゲスト OS のシャットダウン_yyyyMMddHHmm」です。

※入力必須の項目です。

(3)ゲスト OS の再起動

[ジョブ]メニューの[ゲストOSの再起動]を選択すると、[ゲストOSの再起動]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

なお、電源が停止状態の仮想マシンに対して[ゲストOSの再起動]ジョブを実行すると、電源を起動します。

各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名以外の項目は、[仮想マシン電源ON]ジョブと同じです。
「(1)仮想マシンの電源ON」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「ゲスト OS の再起動_yyyyMMddHHmm」です。

※入力必須の項目です。

(4)仮想マシンの電源強制停止

[ジョブ]メニューの[仮想マシン電源強制停止]を選択すると、[仮想マシン電源強制停止]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

仮想マシン電源強制停止

ジョブ名:

仮想マシン電源強制停止_202007161606

リソースキー:

vm-25

リソース名:

CAP_develop-db01

スケジュールタイプ:

即時実行

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名以外の項目は、[仮想マシン電源ON]ジョブと同じです。
「(1)仮想マシンの電源ON」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「仮想マシンの電源強制停止_yyyyMMddHHmm」です。

※入力必須の項目です。

(5)スナップショットの作成

[ジョブ]メニューの[スナップショット作成]を選択すると、[スナップショット作成]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。スナップショット操作系のジョブでは、必ず単一の仮想マシンを選択してジョブを登録してください。複数の仮想マシンを選択した場合、ジョブは登録できません。



スナップショット作成

ジョブ名:

リソースキー:

リソース名:

スナップショット名:

スケジュールタイプ:

各項目の説明を次の表に示します。リソースキー、リソース名は、[仮想マシン電源ON]ジョブと同じです。「(1)仮想マシンの電源ON」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「スナップショット作成_yyyyMMddHHmm」です。
2	スナップショット名※	任意のスナップショット名を一意になるように入力します。半角英数字のみ入力できます。すでに存在するスナップショット名を入力することはできません。
3	スケジュールタイプ※	次の2つのパターンから選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ● 即時実行: 登録と同時にジョブが実行されます。 ● スケジュール実行: 指定日時に1回、ジョブが実行されます。 <div> スケジュールタイプ: <input type="text" value="スケジュール実行"/> </div> <div> 開始日: <input type="text" value="2020/08/24"/> </div> <div> 実行時刻: <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/> </div>

		開始日: ジョブ実行日を指定します。 実行時刻: ジョブ実行時刻を指定します。
--	--	--

※入力必須の項目です。

(6)スナップショットの移動

[ジョブ]メニューの[スナップショット移動]を選択すると、[スナップショット移動]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

スナップショット移動

ジョブ名:

スナップショット移動_202007161610

リソースキー:

vm-25

リソース名:

CAP_develop-db01

スナップショット:

- OSインストール直後 (2017-09-12 15:15:59)
- IPアドレス設定済み (2017-09-12 15:34:05)
- サブスクリプション済み (2017-09-14 12:20:07)
- ポータル起動確認 (2017-09-19 13:36:49)
- ジョブ実行確認済み (2017-09-19 15:42:04)
- 現在点

スナップショット名:

ジョブ実行確認済み

実行確認:

☐

スケジュールタイプ:

即時実行

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。リソースキーとリソース名は[スナップショット作成]ジョブと同じです。「(5)スナップショットの作成」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「スナップショット移動_yyyyMMddHHmm」です。
2	スナップショット※	作成済みのスナップショットを階層表示しています。移動先のスナップショットを選択してください。[現在点]を選択することはできません。
3	スナップショット名	[スナップショット]で選択したスナップショット名が自動的に入力されます。直接編集することはできません。
4	実行確認※	ジョブを登録してもよい場合は、チェックをオンにしてください。誤操作防

		止のためのチェックです。
5	スケジュールタイプ ※	<p>次の3つのパターンから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 即時実行: 登録と同時にジョブが実行されます。 ● スケジュール実行: 指定日時に1回、ジョブが実行されます。 <p>スケジュールタイプ: <input type="text" value="スケジュール実行"/></p> <p>開始日: <input type="text" value="2020/08/24"/></p> <p>実行時刻: <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/></p> <p>開始日: ジョブ実行日を指定します。 実行時刻: ジョブ実行時刻を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 定期実行: 特定の期間中、ジョブが繰り返し実行されます。 <p>スケジュールタイプ: <input type="text" value="定期実行"/></p> <p>開始日: <input type="text" value="2020/08/24"/></p> <p>終了日: <input type="text" value="2021/08/23"/></p> <p>繰り返しタイプ: <input type="text" value="月次"/></p> <p>実行日: <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="日"/> <input type="checkbox"/> 月末</p> <p>実行時刻: <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="0"/></p> <p>開始日: ジョブ実行開始日を指定します。 終了日: ジョブ実行終了日を指定します。 繰り返しタイプ: 日次、週次、月次から選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日次: 毎日、指定した時刻にジョブを実行します。 ・週次: 毎週、指定した曜日にジョブを実行します。 ・月次: 毎月1回、指定した日にジョブを実行します。 <p>実行時刻: ジョブ実行時刻を指定します。</p>

※入力必須の項目です。

(7)スナップショットの削除

[ジョブ]メニューの[スナップショット削除]を選択すると、[スナップショット削除]ダイアログが表示されます。各項目を入力し、[実行]ボタンをクリックしてジョブを登録してください。

×

スナップショット削除

ジョブ名:

スナップショット削除_202007161613

リソースキー:

vm-25

リソース名:

CAP_develop-db01

スナップショット:

● OSインストール直後 (2017-09-12 15:15:59)

● IPアドレス設定済み (2017-09-12 15:34:05)

● サブスクリプション済み (2017-09-14 12:20:07)

● ポータル起動確認 (2017-09-19 13:36:49)

● ジョブ実行確認済み (2017-09-19 15:42:04)

● 現在点

スナップショット名:

ジョブ実行確認済み

実行確認:

☐

スケジュールタイプ:

即時実行

実行

キャンセル

各項目の説明を次の表に示します。ジョブ名とスケジュールタイプ以外の項目は、[スナップショットの移動]ジョブと同じです。「(6)スナップショットの移動」を参照してください。スケジュールタイプは、[スナップショットの作成]ジョブと同じです。「(5)スナップショットの作成」を参照してください。

No.	項目	説明
1	ジョブ名※	任意の名称を入力します。ジョブ名のデフォルトは、「スナップショット削除_yyyyMMddHHmm」です。

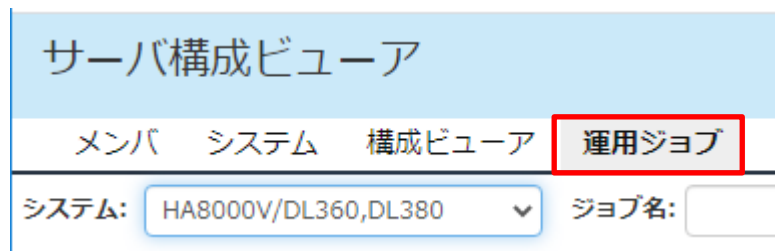
※入力必須の項目です。

● vCenter へのジョブ実行に関する注意事項

- ・ 電源がサスペンド状態の仮想マシンに対して電源操作のジョブを実行すると、ジョブ(タスク)はエラーとなります。電源操作はサスペンド状態以外の仮想マシンに対して行ってください。
- ・ 電源がオン、またはサスペンド状態の仮想マシンに対してスナップショットの作成を行うと、タスクはエラーとなります。スナップショットの作成は電源オフ状態の仮想マシンに対して行ってください。
- ・ 複数台の仮想マシンを選択して電源ジョブを登録した場合、設定したジョブ名の後ろに連番が自動的に付与され、仮想マシンの台数分のジョブが登録されます。1ジョブに含まれる仮想マシンの台数は常に1台です。
- ・ 複数のユーザーおよびWebブラウザから同一のジョブおよびタスクを対象にした操作を同時に行わないでください。操作が競合すると予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 1つの操作対象に対して、同時刻に実行するジョブを複数登録しないでください。登録した場合、予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ vSphere Clientから電源オン状態で仮想マシンのスナップショットへの移動を行った場合、移動完了から数分間は、本システムからの仮想マシンの停止および再起動のタスクがエラーとなることがあります。
- ・ vSphere Clientから仮想マシンに同一名称のスナップショットを複数作成すると、本システムからの仮想マシンのスナップショット操作が不正になることがあります。仮想マシンにスナップショットを作成する場合はユニークな名称をつけてください。
- ・ 運用ジョブ画面において、カレンダーおよび時間の入力支援ダイアログを表示して日付または時間を入力してもダイアログは自動的に閉じません。ダイアログを閉じるには、ダイアログ以外の場所をクリックしてください。
- ・ 定期実行ジョブで月末にジョブを実行する場合は、「月末」チェックをオンにしてください。31日を指定した場合、30日が月末の月にはジョブは実行されません。

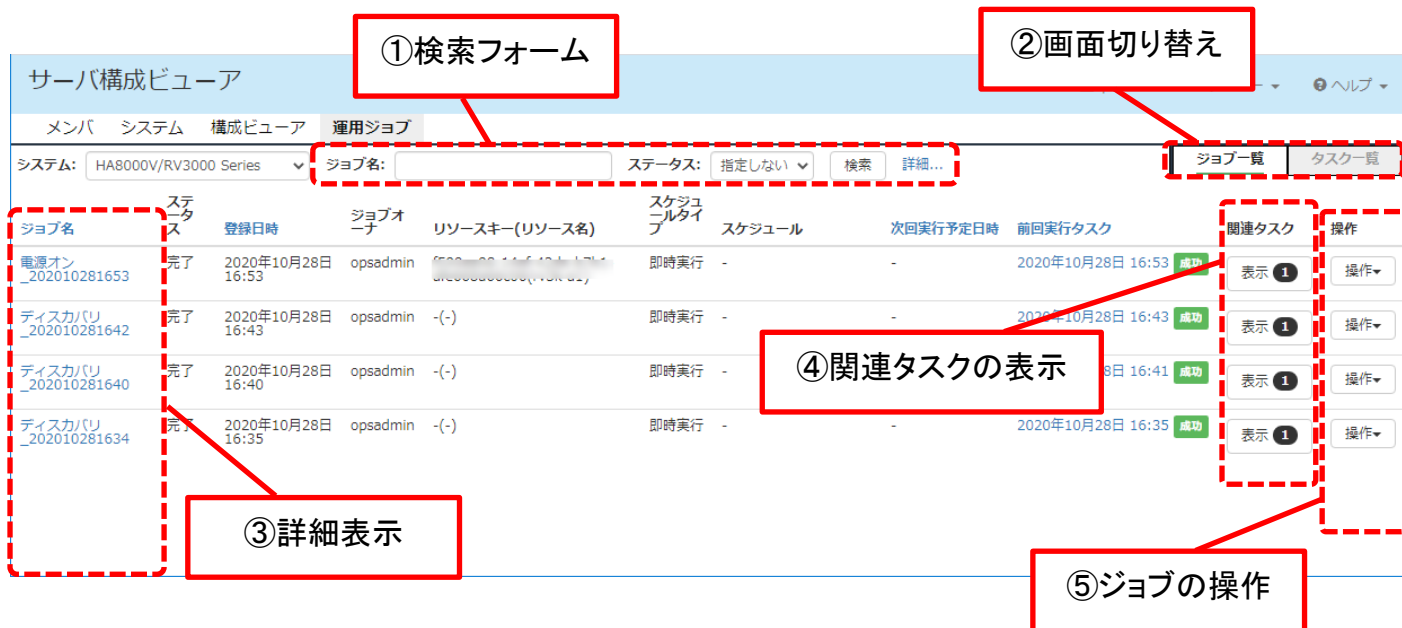
3.3.3. ジョブの確認

画面上部タブの[運用ジョブ]を選択すると運用ジョブ画面が表示されます。運用ジョブ画面では、登録済みジョブのステータスやタスクの実行結果を確認できます。また、登録済みジョブに対して起動、停止などの操作ができます。なお、処理が終了した成功、失敗、またはキャンセル状態のタスクは、終了日時から1年間を経過すると自動で削除されます。また、タスクが1つも存在しなくなった完了状態のジョブも合わせて削除されます。



(1)ジョブ一覧

画面左上の[構成一覧]から表示したい構成を選択すると、対象のジョブの一覧が表示されます。ジョブ一覧画面を次に示します。ジョブはジョブ名や登録日時順で並び替えることができます。



① 検索フォーム

検索フォームでは、必要なジョブのみを表示できるように絞り込みができます。ジョブ名の入力やステータスを選択して、[検索]ボタンをクリックしてください。絞り込みができる内容は次のとおりです。

No.	項目	説明	
1	ジョブ名	検索するジョブ名を一部またはすべて入力してください。入力されたジョブ名に部分一致するジョブを表示します。	
2	ステータス	[指定しない]	すべてのジョブを表示します。
3		[稼働中]	稼働中のジョブを表示します。
4		[停止]	停止したジョブを表示します。

5		[完了]	完了したジョブを表示します。
---	--	------	----------------

さらに詳細な絞り込みが必要な場合は、[詳細]ボタンをクリックしてください。追加の絞り込み項目を表示します。絞り込む内容を入力し、[検索]ボタンをクリックしてください。

No.	項目	説明
1	スケジュールタイプ	[指定しない]、[即時実行]、[スケジュール実行]、[定期実行]から選択します。
2	次回実行予定時刻	次回実行予定時刻の絞り込み開始日時と終了日時を入力します。入力形式は、yyyy-MM-dd HH:mm です。カレンダーから選択することもできます。
3	前回実行タスク	前回実行タスクの絞り込み開始日時と終了日時を入力します。入力形式は、yyyy-MM-dd HH:mm です。カレンダーから選択することもできます。

② 画面切り替え

画面右上のタブからジョブ一覧とタスク一覧を切り替えることができます。

③ 詳細表示

詳細表示では、ひとつのジョブの詳細を表示します。表示された内容を編集することはできません。

ジョブの詳細画面を次に示します。

ジョブ詳細

ジョブ名:

デイスカバリ_202007011910

ステータス:

完了

アクション:

デイスカバリ

リソースキー:

リソース名:

スケジュールタイプ:

即時実行

ジョブオーナー:

opsadmin

登録日時:

2020年7月1日 19:10

ジョブパラメータ:

パラメータ名	値
設定	<div> <div>[0] IPアドレス範囲: 10.1.1.1-140</div> <div>[0] ポート番号: 443</div> <div>[0] ユーザーID: opsadmin</div> <div>[0] パスワード: *****</div> <div>[0] 強制: オフ</div> <div>[1] IPアドレス範囲: 10.1.1.1-140</div> <div>[1] ポート番号: 443</div> <div>[1] ユーザーID: opsadmin</div> <div>[1] パスワード: *****</div> <div>[1] 強制: オフ</div> </div>

閉じる

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	ジョブ名	ジョブ名です。
2	ステータス	ジョブのステータスです。ステータスには次の 3 種類があります。 <ul style="list-style-type: none">● 稼働中 ジョブは稼働中の状態です。● 停止 ジョブは停止状態です。● 完了 ジョブは完了しました。
3	アクション	[構成ビューア] - [ジョブ]メニューで選択したジョブ定義の名前(アクション)です。
4	リソースキー	リソースを特定する識別子です。
5	リソース名	リソースの名前です。
6	スケジュールタイプ	スケジュールタイプです。
7	予定日時	タスクを実行する予定の日時です。 スケジュールタイプが「定期実行」の場合、開始日、終了日、繰り返しタブなどの情報を表示します。
8	ジョブオーナー	ジョブを登録したユーザーID です。
9	登録日時	ジョブの登録日時です。
10	ジョブパラメータ	各ジョブ別に登録したすべてのパラメータ情報を列挙します。

④ 関連タスクの表示

関連タスクの表示では、ジョブの定義で動作したタスクのみをタスク一覧画面で表示します。[表示]ボタンにある数字は、関連するタスクが何件あるかを示します。

⑤ ジョブの操作

[操作]ボタンでは、該当ジョブの停止や削除、停止したジョブの再開およびジョブのコピーを行うことができます。ジョブの停止は、動作する予定のタスクを停止します。ジョブの削除では、関連するタスクの情報も削除されますのでご注意ください。削除したジョブとタスクを復元することはできません。なお、複数のジョブを一括して操作することはできません。

ジョブを停止すると、次回予定されているタスクの実行を中止します。その後、ジョブを再開しても中止済みのタスクは再開しません。定期実行ジョブにおいて、ジョブの停止と再開を行うと予定どおりにタスクが実行されないことがあるため、ご注意ください。

(2)タスク一覧

画面上部右タブ[タスク一覧]をクリックすると、タスクの一覧が表示されます。タスクは、ジョブを実行す

るごとに生成され、タスク一覧ではその実行状況を確認できます。タスクは予定日時や開始日時順で並び替えることができます。

① 検索フォーム

検索フォームでは、参照したいタスクのみを表示できるように絞り込みができます。ジョブ名やステータスを指定して、[検索]ボタンをクリックしてください。絞り込みができる内容は次のとおりです。

No.	項目	説明	
1	ジョブ名	検索するジョブ名を一部またはすべてを入力してください。入力されたジョブ名に部分一致するジョブを表示します。ジョブ一覧から[関連タスク]ボタンをクリックしてタスク一覧を表示した場合、この項目の値は変更できません。	
2	ステータス	[指定しない]	すべてのタスクを表示します。
3		[待機中]	実行する前の状態のタスクを表示します。
4		[実行中]	実行中の状態のタスクを表示します。
5		[成功]	成功したタスクを表示します。
6		[失敗]	失敗したタスクを表示します。
7		[キャンセル]	キャンセル状態のタスクを表示します。

さらに詳細な絞り込みが必要な場合は、[詳細]ボタンをクリックしてください。追加の絞り込み項目を表示します。絞り込む内容を入力し、[検索]ボタンをクリックしてください。

No.	項目	説明
1	予定日時	予定日時の絞り込み開始日時と終了日時を入力します。入力形式は、yyyy-MM-dd HH:mm です。カレンダーから選択することもできます。
2	開始日時	開始日時の絞り込み開始日時と終了日時を入力します。入力形式は、yyyy-MM-dd HH:mm です。カレンダーから選択することもできます。
3	終了日時	終了日時の絞り込み開始日時と終了日時を入力します。入力形式は、yyyy-MM-dd HH:mm です。カレンダーから選択することもできます。

② 画面切り替え

画面右上のタブからジョブ一覧とタスク一覧を切り替えることができます。

③ 詳細表示

詳細表示のリンクをクリックするとタスクの情報と結果の詳細が表示されます。タスクの詳細画面を次に示します。

×

タスク詳細

タスク名: ディスカバリ_202007011910_1

ジョブ名: ディスカバリ_202007011910

ステータス: 成功

タスク進捗: 2/2

タスクオーナー: opsadmin

予定日時: 2020年7月1日 19:10

開始日時: 2020年7月1日 19:10

終了日時: 2020年7月1日 19:10

結果:

閉じる

各項目の説明を次の表に示します。

No.	項目	説明
1	タスク名	タスク名です。タスク名は、ジョブ名に連番を付与した形式で自動生成します。
2	ジョブ名	ジョブ名です。
3	ステータス	タスクのステータスです。タスクのステータスには次の 5 種類あります。 <ul style="list-style-type: none">● 待機中 タスクが実行を待機している状態です。この状態のタスクのみ、[中止]ボタンで実行をキャンセルできます。● 実行中 タスクは現在実行中です。● 成功 タスクは成功しました。● 失敗 タスクが失敗しました。● キャンセル

		タスクを中止した状態です。
4	タスクオーナー	タスク(ジョブ)を登録したユーザーID です。
5	予定日時	タスクを実行する予定の日時です。
6	開始日時	タスクの実行を開始した日時です。実行前の場合は、「-」(ハイフン)を表示します。
7	終了日時	タスクの実行が終了した日時です。終了前の場合は、「-」(ハイフン)を表示します。
8	結果	タスクの結果メッセージを表示します。

④ タスクの中止

タスク一覧の[中止]ボタンをクリックすると待機中ステータスのタスクを中止できます。ステータスは、[待機中]から[キャンセル]に遷移します。なお、複数のタスクを一括して操作することはできません。

3.4. 構成情報のエクスポート

構成ビューア画面から、表示している構成の構成図と構成情報をエクスポートできます。構成ビューア画面のメニュー領域にある[エクスポート]ボタンをクリックするとExcelファイルをダウンロードできます。



Excelファイルにはダウンロード時点で表示している構成図の画像データも含まれます。[表示切り替え]メニューで期待する構成図となるように調整してから、ダウンロードしてください。

ダウンロードした Excel ファイルには次のようにリソースごとの情報をシートに分割した形で出力します。

HA8000V/RV3000 構成情報をエクスポートした場合

シート名	説明
機器	サーバ名、プロセッサモデル、IP アドレス、電源の状態など、機器に関する情報を出力します。 <ul style="list-style-type: none">出力するネットワークアダプタの数は最大4個です。5個目以降の情報は出力されません。なお、4個未満の場合でも列は4個分固定で出力します。出力するファンの数は最大12個です。13個目以降の情報は出力されません。なお、12個未満の場合でも列は12個分固定で出力します。出力する電源モジュールの数は最大4個です。5個目以降の情報は出力されません。なお、4個未満の場合でも列は4個分固定で出力します。
構成図	構成データの取得日時および、構成図のイメージを出力します。

vCenter 構成情報をエクスポートした場合

シート名	説明
構成図	構成データの取得日時および、構成図のイメージを出力します。
ESX ホスト	ホスト名、IP アドレス、製品名など、ESX ホストに関する一覧情報を出力します。
標準スイッチ	標準スイッチとポートグループの組み合わせごとに、VLAN ID、有効なアダプタ、スタンバイ中のアダプタ、アクセス可能の一覧情報を出力します。

分散仮想スイッチ	分散仮想スイッチとポートグループの組み合わせごとに、VLAN ID、VLAN タイプ、ポート数、所属する ESX ホストの一覧情報を出力します。
データストア	データストアの一覧情報を出力します。
仮想マシン	仮想マシン名、OS 種別、NIC、ハードディスクなどの仮想マシンの一覧情報を出力します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出力するNICの数は最大4台です。5台目以降の情報は出力されません。 ・ 出力するハードディスクの数は最大5台です。6台目以降の情報は出力されません。
スナップショット	各仮想マシンのスナップショットの一覧情報を出力します。
テンプレート	テンプレート名、OS 種別などのテンプレートの一覧情報を出力します。
未使用 SCSI LUN	未使用 SCSI LUN の一覧情報を出力します。

● 注意事項

- ・ 管理台数が多い場合、構成情報が出力されるまで時間がかかることがあります。
- ・ タスクの実行中に構成を取得してエクスポートを行った場合、情報の一部が出力されないことがあります。情報が欠落していないことを確認するには、エクスポートファイル内の行に「エラーが発生しました。」のエラーメッセージが出力されていないか検索してください。エラーメッセージが出力されている場合は、最新の構成に更新した後で再度エクスポートを行ってください。
- ・ エクスポートした各データはソートされていません。各データは任意の処理順に出力されます。
- ・ 構成取得に失敗した機器も、収集日時、およびエラー情報が出力されます。
- ・ 構成図のイメージは出力対象となるリソース数が多いと、表示できないか、ぼやけて表示される場合があります。

3.5. 構成履歴の保存

構成ビュー画面から、表示している構成の構成情報を保存できます。構成ビュー画面のメニュー領域にある [構成履歴保存] ボタンをクリックすると構成履歴保存用のポップアップが表示されます。任意の名前を入力して [保存] ボタンをクリックしてください。



これで現在の構成情報が保存されました。保存した構成情報を参照するにはメニュー領域の [構成履歴一覧] ボタンをクリックしてください。[構成履歴一覧] ボタンをクリックすると画面右下に [構成履歴一覧] が表示されますので、一覧から表示したい構成をクリックしてください。



保存済みの構成履歴を削除するには、構成履歴一覧の右側のごみ箱ボタンをクリックしてください。

構成履歴を表示すると、メニュー領域は灰色表示になり、[構成履歴モード] に遷移します。構成図には履歴一覧で選択した履歴保存時点の構成を表示します。構成履歴一覧から別の履歴を選択して、表示する構成履歴を切り替えることができます。[構成履歴モード] 中に [エクスポート] ボタンをクリックして、構成履歴保存時点の構成情報をエクスポートすることもできます。

[構成履歴モード] から元のモードに戻るには画面左上の [構成履歴モード終了] ボタンをクリックしてください。

サーバ構成ビューア

メンバ システム 構成ビューア 運用ジョブ

構成履歴モード終了

システム: HA8000V/DL360,DL380



検索



● 注意事項

- ・ [構成履歴モード]中は、構成履歴の保存やジョブの実行など一部の機能は使用できません。
- ・ ディスクの空き容量が不足している場合は構成履歴の保存に失敗し、エラーメッセージが表示されます。不要な構成履歴を削除してから再度実行してください。

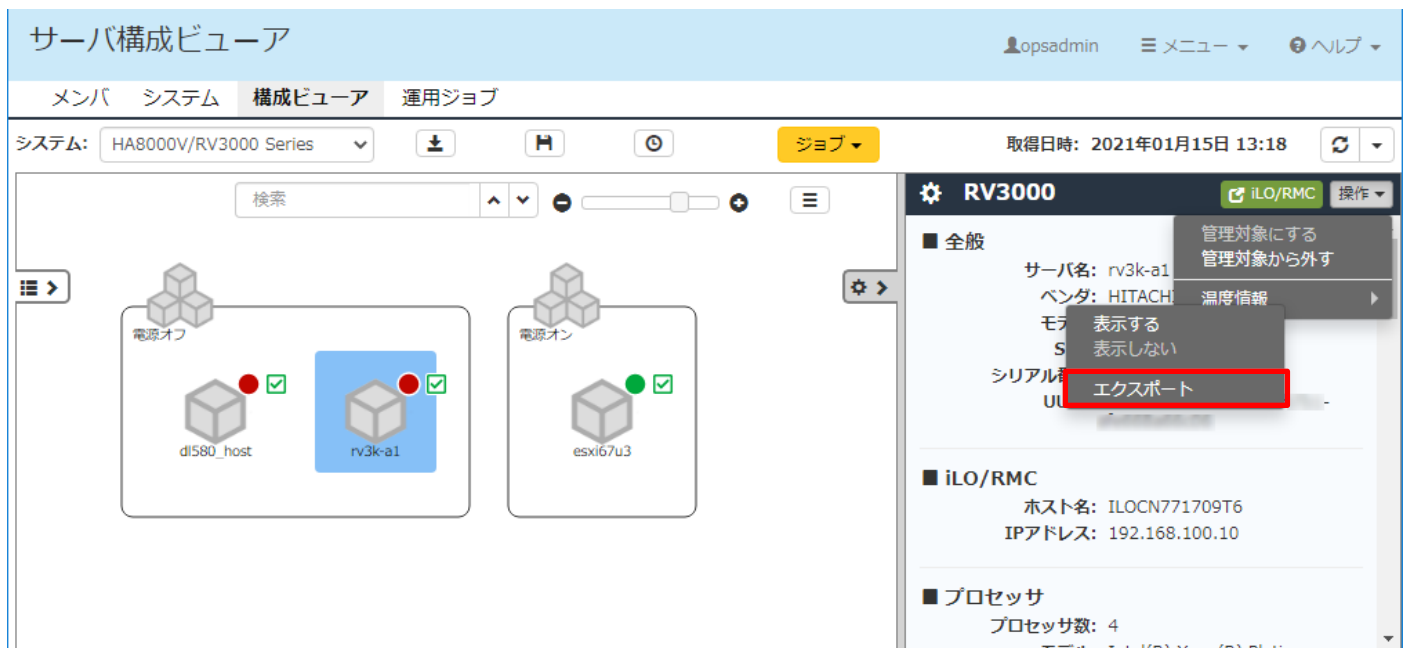
3.6. 温度情報のエクスポート

温度情報の表示機能に対応したサーバ機器から温度情報を CSV 形式のファイルにエクスポートできます。

温度情報は、「3.2.1(6)温度情報の表示・非表示」での設定によらず、構成情報の取得契機で定期的に保存されるため、エクスポートすることでサーバ機器の入気温度の遷移を確認することができます。

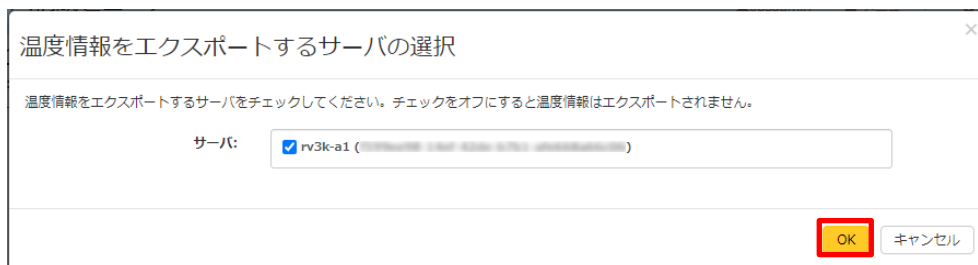
● 温度情報をエクスポートする

温度情報の表示機能に対応したサーバ機器またはそれを含むグループを選択したうえで、[操作]ドロップダウンリストから[温度情報]-[エクスポート]を選択します。



[温度情報をエクスポートするサーバの選択]ダイアログが表示されるので、チェックがついているサーバ機器を確認したうえで、[OK]ボタンをクリックしてください。

出力ファイルは、CSV形式のファイルをZIP形式に圧縮したファイルでダウンロードされます。



● 温度情報の出力ファイル

- ・ 選択したサーバの温度情報が、1つのCSV形式のファイルに出力されます。
- ・ 出力データは、取得日時の昇順で出力されます。
- ・ 出力ファイルの文字セットは、UTF-8です。

- 温度情報の出力項目

温度情報の出力項目を次の表に示します。

項目	説明
モデル	機器のモデル名を出力します。
シリアル番号	機器のシリアル番号を出力します。
取得日時	機器の入気温度の取得日時を <i>yyyy</i> 年 <i>MM</i> 月 <i>dd</i> 日 <i>HH:mm</i> 」の形式で出力します。
入気温度	機器の入気温度(°C)を整数値で出力します。

- 温度情報のエクスポートに関する注意事項

温度情報の保存期間は 1 年間です。1 年を経過した温度情報は自動で削除されます。

4. リファレンス

4.1. よくあるご質問

- (1) 画面表示が崩れている
- (2) エラーページが表示される
- (3) 操作の実行に必要な権限を知りたい

(1)画面表示が崩れている

使用可能な Web ブラウザを使用していることを確認してください。使用できる Web ブラウザは、「1.2. 事前準備」を参照してください。また、Web ブラウザの表示範囲を小さくしすぎた場合にも画面が崩れる可能性があります。

(2)エラーページが表示される

次のようなエラーページが表示されるときは、Web ブラウザに保存されたクッキーと Web サイトデータを削除して、再読み込みしてください。



(3)操作の実行に必要な権限を知りたい

操作と権限(オーナー、メンバ、閲覧)の関係を次に示します。

【凡例】 ○:できる、 ×:できない

操作	権限		
	オーナー	メンバ	閲覧
ログイン/ログアウト	○	○	○
基本情報	○	○	○
メンバの追加・編集・削除	○	×	×
ライセンスキーの登録	○	×	×
システムの追加・編集・削除	○	○	×
ディスカバリの実行/管理対象への登録	○	○	×
構成図の確認			
基本表示	○	○	○
詳細表示	○	○	○
表示切り替え	○	○	○
ツリー表示	○	○	○
温度情報の表示・非表示	○	○	×
グループ化設定の追加・編集・削除	○	○	×
ジョブの実行・確認			
ジョブの実行	○	○	×
ジョブ一覧の確認	○	○	○
ジョブの操作	○	○	×
タスク一覧の確認	○	○	○
タスクの中止	○	○	×
構成情報のエクスポート	○	○	○
構成履歴の保存	○	○	×
温度情報のエクスポート	○	○	×
設定のエクスポート/インポート	○	×	×

4.2. 注意事項および制限事項

本システムを使用する上での注意事項と制限事項です。

- ・ 本システムで利用できる文字は、基本多言語面(BMP)範囲内のUnicode文字です。範囲外の文字コードを使用した場合、予期しないエラーが発生することがあります。
- ・ 一時的な通信障害、リソース不足および処理の競合が発生した場合に、「管理者へご連絡ください」というエラーページが表示されることがあります。エラーページが表示された場合、Webブラウザに保存されたクッキーとWebサイトデータを削除して再読み込みすると、改善することがあります。
- ・ ダイアログを表示したときに、テキストボックス内にカーソルが表示されているのに、選択状態(テキストボックスの枠が水色)にならずに文字入力ができないことがあります。この場合、テキストボックスをマウスでクリックするか、Tabキーをクリックして選択状態にしてから文字を入力してください。





5. お問い合わせ先

5.1. 最新情報の入手先

「RV3000 ホームページ」で、製品情報や重要なお知らせ、技術情報、ダウンロードなどの最新情報を提供しています。


■ホームページアドレス: <https://www.hitachi.co.jp/rv3000/>

5.2. お問い合わせ先一覧

	カテゴリ	当日(24時間)保守モデル	当日(8-19時)保守モデル	翌日以降(9-17時)保守モデル
製品検討／ 購入前	コンピュータ製品 (添付ソフトウェアを含む)に 関するお問い合わせ	HCAセンター  0120-2580-12 受付時間 9:00-12:00、13:00-17:00 (土日、祝日、年末年始、夏季休暇など弊社指定定休日を除く)		
納品	・同梱品の不足 ・各装置の損傷 ・納入時の欠品や 初期不良	日立コールセンタ  0120-921-789 受付時間 9:00-18:00 (土日、祝日、年末年始、夏季休暇など弊社指定定休日を除く)		
セッティング 導入／運用	サーバ製品の ハードウェア機能や 操作方法に関する お問い合わせ	日立ソリューションサポートセンタ HA8000V製品情報システム(Web)でお知らせします。 対応時間 一般のお問い合わせ : 平日9:00-17:00 障害に関するお問い合わせ : 平日8:00-19:00／24時間365日 (対応時間はモデルにより異なります) ※お問い合わせ時は「標準バンドル専用のサービスID」が 必要となります。		HCAセンター  0120-2580-12 受付時間 9:00-12:00 13:00-17:00 (土日、祝日、年末年始、夏季休暇 など弊社指定定休日を除く)
	ハードウェア 故障時の修理依頼			日立コールセンタ  0120-921-789 受付時間 9:00-18:00 (土日、祝日、年末年始、夏季休暇 など弊社指定定休日を除く)
	ハードウェアに関する 技術的なお問い合わせ			総合サポートサービス(有償) 「日立サポート360」 ※お問い合わせ時はサポート360 のサービスIDが必要となります。
	OS、ソフトウェア に関する技術的な お問い合わせ	総合サポートサービス(有償) 「日立サポート360」 ※お問い合わせ時はサポート360のサービスIDが 必要となります。		

5.3. コンピュータ製品に関するお問い合わせ

コンピュータ製品(添付ソフトウェアを含む)に関するお問い合わせは、HCAセンター(Hitachi カスタマ・アシスタンス・センター) でご回答いたしますので、次のフリーダイヤルにおかけください。

 0120-2580-12

- ・ お問い合わせ

- お問い合わせになる際に次の内容をメモし、お伝えください。お問い合わせ内容の確認をスムーズに行うため、ご協力をお願いいたします。

形名(TYPE)／製造番号(S/N)／インストール OS

「形名」および「製造番号」は、システム装置前面のシリアルラベルプルタブに貼り付けられている機器ラベルにてご確認ください。

- 質問内容を FAX でお送りいただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。
- 明らかにハードウェア障害と思われる場合は、販売会社または保守会社にご連絡ください。

5.4. 欠品・初期不良・故障のお問い合わせ

本製品の納入時の欠品や初期不良に関するお問い合わせは日立コールセンタにご連絡ください。

- お電話の際には、製品同梱の保証書をご用意ください。

5.5. 操作や使いこなし、およびハードウェア障害のお問い合わせ

本製品のハードウェアの機能や操作方法、およびハードウェアに関する技術的なお問い合わせ、またシステム装置の深刻なエラーが発生したときは、お買い求め先の販売会社または、ご契約の保守会社にご連絡ください。ご連絡先はご購入時にお控えになった連絡先をご参照いただき、日立ソリューションサポートセンタにお問い合わせください。

5.6. OS、ソフトウェアに関するお問い合わせ

本製品のOS、ソフトウェアに関する技術的なお問い合わせには、有償サポートサービス「日立サポート 360」のご契約が必要です。

サポート窓口は、有償サポートサービスご契約時に送付される、「サービス利用ガイド」に記載されていますのでご確認ください。

6. サポート & サービスのご案内

6.1. ハードウェア保守サービス

システム装置に提供されるハードウェア保守サービスの概要について説明します。

「翌日(9-17時)以降保守モデル」を基準に説明します。モデルごとに無償保証のサービス内容や保守サービス期間、製品保証などが異なります。それぞれのサービスの概要は、以下のURLをご参照ください。

RV3000 ホームページ : <https://www.hitachi.co.jp/rv3000/>

※システムファームウェアの新規不具合の対策提供は、原則として製品販売終了後 7 年目までとなります。

それ以降の対応については、既知不具合の対策提供と回避策の検討と提案の対応となります。

※ハードウェア保守サービスの対象はハードウェアのみとなります。対象システム装置で動作するソフトウェアは対象外です。

※納入後にオプションの追加などをおこなう場合は、作業は保守員におまかせいただくことをお勧めします。

もし、お客様にてオプションを増設した場合は、保守コールの際に増設したオプションを必ず申告ください。保守会社にて管理するお客様のハードウェア構成情報と一致しないことで適切な保守サービスが提供できないことがあります。

無償保証の概要

システム装置をご購入いただいた日から 3 年間は、無償保守を行います。保証書は紛失しないよう、大切に保管してください。

無償修理期間	ご購入日より 3 年間 *1
サービス内容 *2	「出張修理サービス(翌平日オンサイト)」 障害ご連絡後の翌平日以降にサービス員が出張による修復(無償)
サービス時間 *2	平日 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日、年末年始を除く)
対象製品	RV3000 システム装置および内蔵オプション *3 (OS およびソフトウェア製品は対象外)

*1 有償部品は保証使用量到達前の交換を推奨します。

*2 交通事情・天候や地理条件(島しょや山間部、遠隔地)などにより、上記日時は変更となる場合があります。

*3 RV3000 専用外付けオプションに関しては、個々に保証書が添付されています。

その保証書に記載されている保証期間が適用されます。

RV3000 専用内蔵オプションに関しては、当該オプションが内蔵されているシステム装置本体の無償修理期間が適用されます。

無償修理期間後の保守サービスについては、お買い求め先にご相談ください。

6.2. 保守作業時の注意事項

システム装置の障害などによる保守作業において部品交換が発生した場合、交換した部品や BIOS、ファームウェアは基本的に最新のバージョンが適用されます。

- 必要に応じて交換していない部品の BIOS、ファームウェアも最新のバージョンに更新することがあります。保守作業前と異なる場合があることをあらかじめご了承ください。
- お客様にて特定のBIOS、ファームウェアバージョンをご使用されている場合は、保守作業後に適用したバージョンからお客様ご自身で変更いただくようお願いします。
- 保守作業でファームウェアを更新した場合、対応するドライバの更新が必要となる場合があります。保守作業後にお客様ご自身でドライバ更新いただくようお願いします。

6.3. 製品保証

- 保証規定

保証規定は保証書の裏面に記載されておりますので、よくお読みください。

- 保証期間

詳しくは保証書に記載されておりますのでご参照ください。

6.4. 技術支援サービス

ハードウェアや OS、ソフトウェアの技術的なお問い合わせについては、「技術支援サービス」による有償サポートとなります。

6.5. 総合サポートサービス「日立サポート 360」

ハードウェアとWindows やLinux など OS を一体化したサポートサービスをご提供いたします。詳細は、次のURL で紹介しています。

- ホームページアドレス <https://www.hitachi.co.jp/soft/support360/>

インストールや運用時のお問い合わせや問題解決など、システムの円滑な運用のためにサービスのご契約を推奨します。

サーバ構成ビューアユーザズガイド

初版 2021 年 2 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**

〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 6 号

<https://www.hitachi.co.jp>